

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

## 米国上場有価証券等のお取引に関する重要事項

### <リスク>

米国株式および米国ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「米国株式等」）の売買では、株価等の価格の変動、外国為替相場の変動等、または発行者等の信用状況の悪化等により、元本損失が生じることがあります。米国ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じることがあります。国外株式等の場合には、その国の政治的・経済的・社会的な環境の変化のために、元本損失が生じることがあります。なお、外国為替相場の変動により、外貨お預り金の円換算価値が下がり、円ベースでの元本損失が生じることがあります。

信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大2倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じることがあります。

### <保証金の額または計算方法>

米国株式等の信用取引では、売買金額の50%以上かつ30万円を下回らない範囲で当社が定める米ドル金額以上の保証金が必要です。

### <手数料等>

#### 現物取引

米国株式等の委託取引では、約定金額に対し0.45%（税込:0.495%）（上限20米ドル（税込:22米ドル））の国内取引手数料がかかります。IFAを媒介した取引の取引手数料は、1注文の約定金額により異なり、最大14,000米ドル（税込:15,400米ドル）がかかります。取引手数料のほか売却時のみ現地取引費用がかかります。現地取引費用は、市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等および手数料等の合計額等をあらかじめ表示することはできません。店頭取引では取引手数料はかかりませんが、取引価格は当社が直近の米国金融商品取引所の終値等をベースとして合理的に算出した基準となる価格に、概ね1.5%（最大5.0%）のスプレッドを加減して決定し、IFAを媒介した取引の場合は、概ね2.2%（最大5.7%）のスプレッドを加減して決定いたします。米国ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。円貨お預り金と外貨お預り金の交換時に所定の為替手数料がかかります。

#### 信用取引

信用取引では、約定したお取引に対し当社が定める取引手数料がかかる他、信用金利等がかかります。取引手数料および信用金利等の詳細はサービス開始前のため未定ですが、サービス開始までに当社ウェブサイトでご案内いたします。

### <その他>

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「上場有価証券等書面」「契約締結前交付書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。また、米国株式等は、国内金融商品取引所に上場されている場合や国内で公募・売出しが行われた場合等を除き、日本の法令に基づく企業内容等の開示が行われておりませんので、取引を行うにあたっては十分にご留意ください。

## 投資信託取引に関する重要事項

### <リスク>

投資信託は、主に値動きのある有価証券、商品、不動産等を投資対象としています。投資信託の基準価額は、組み入れた有価証券、商品、不動産等の値動き等（組入商品が外貨建てである場合には為替相場の変動を含む）の影響により上下するため、これにより元本損失が生じることがあります。また、外貨建て投資信託においては、外貨ベースでは投資元本を割り込んでいない場合でも、円換算ベースでは為替相場の変動により投資元本を割り込むことがあります。投資信託は、投資元本および分配金の保証された商品ではありません。

### <手数料・費用等>

投資信託ご購入の際の申込手数料はかかりませんが（IFAを媒介した取引を除く）、購入時または換金時に直接ご負担いただく費用として、約定日の基準価額に最大計1.2%を乗じた額の信託財産留保額がかかります。また、投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、純資産総額に対して最大年率2.586%（税込:2.709%）程度を乗じた額の信託報酬のほか、その他の費用がかかります。また、運用成績に応じた成功報酬等がかかる場合があります。その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。手数料（費用）の合計額については、申込金額、保有期間等の各条件により異なりますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。なお、IFAコースをご利用のお客様について、IFAを媒介した取引から投資信託を購入される際は、申込金額に対して最大3.5%（税込:3.85%）の申込手数料がかかります。詳しくは当社ウェブサイトに掲載の「ファンド詳細」よりご確認ください。

### <その他>

投資信託の購入価額によっては、収益分配金の一部ないしすべてが、実質的に元本の一部払い戻しに相当する場合があります。また、通貨選択型投資信託については、投資対象資産の価格変動リスクに加えて複雑な為替変動リスクを伴います。投資信託の収益分配金と、通貨選択型投資信託の収益／損失に関しては、以下をご確認ください。

投資信託の収益分配金に関するご説明（<https://info.monex.co.jp/fund/monthly-distribution.html>）

通貨選択型投資信託の収益／損失に関するご説明（<https://info.monex.co.jp/fund/profit.html>）

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「目論見書補完書面」「投資信託説明書（交付目論見書）」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

# 2022年度 第2回 全国投資セミナー

今だから行おうべき米国株投資



マネックス証券 チーフ外国株コンサルタント

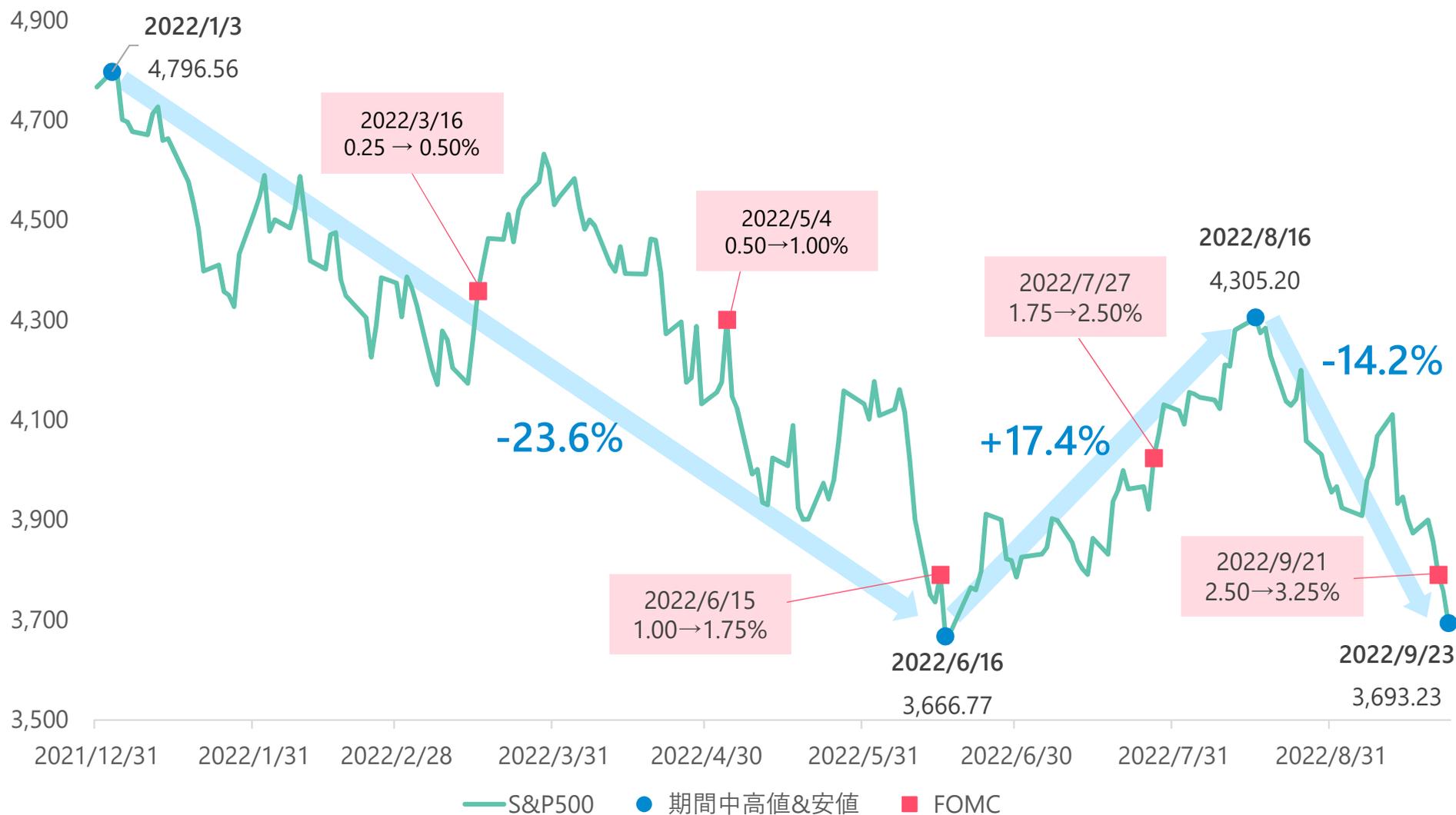
岡元兵八郎

2022年10月2日（日曜日）

# 2022年 S&P500と利上げの推移

期間：2021/12/31～2022/9/23

(単位：pt)



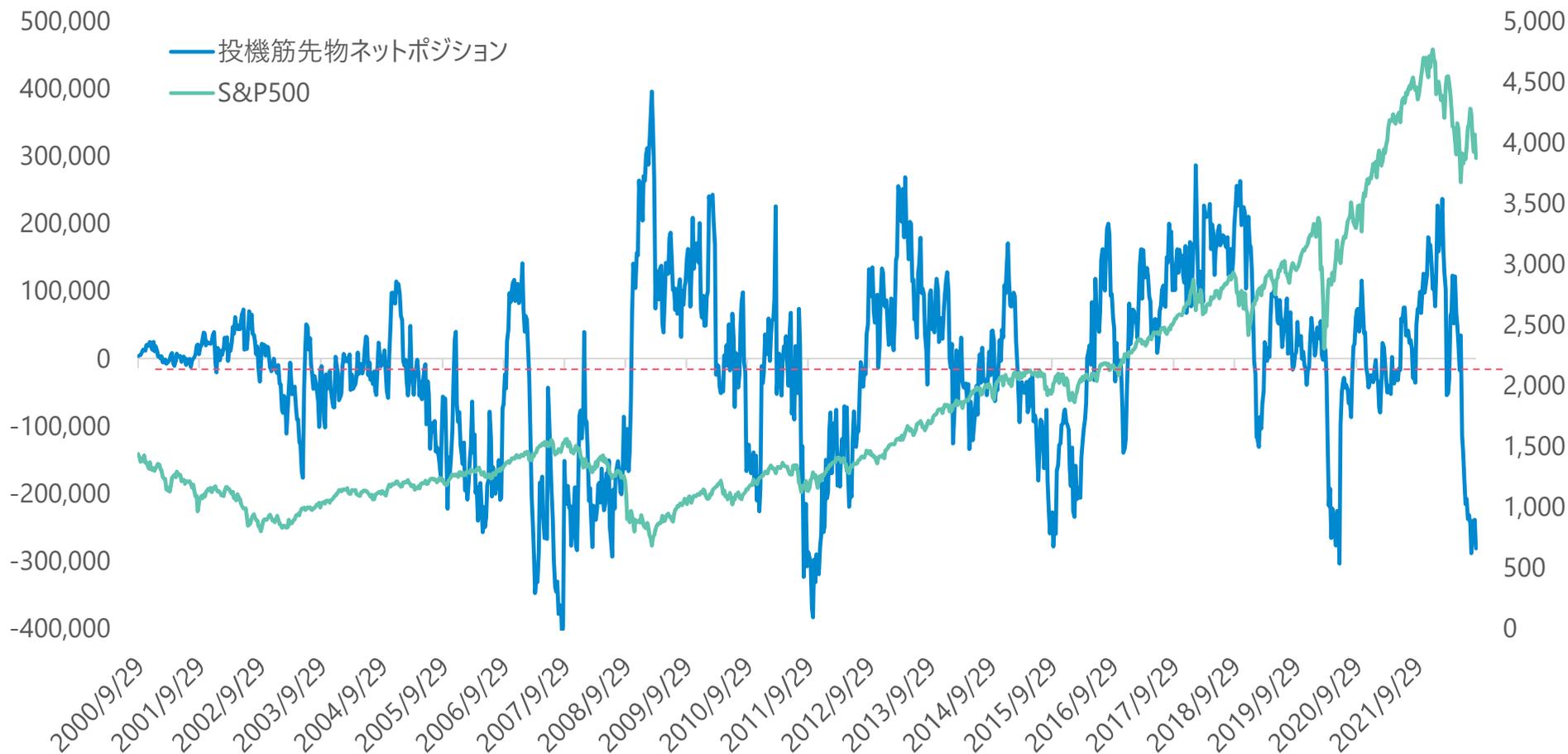
(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# S&P500と投機筋先物ネットポジション

(期間：2005/12/30～2022/9/16)

投機筋先物ネットポジション  
(単位：枚)

S&P500  
(単位：pt)



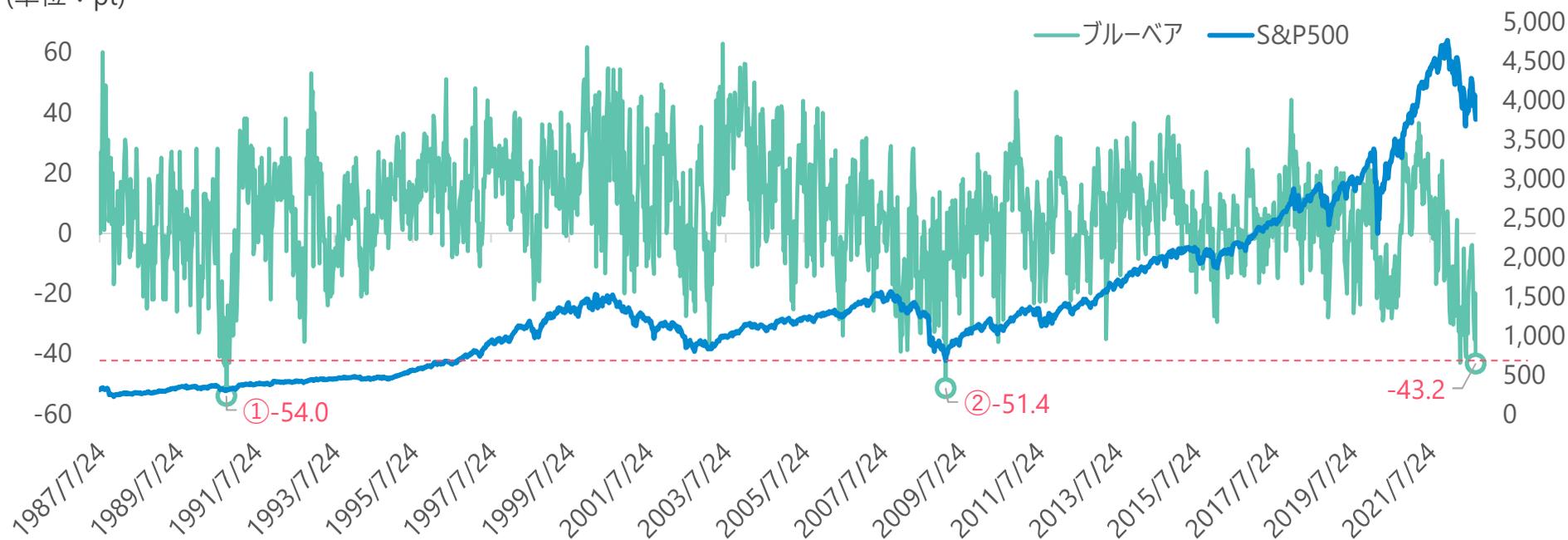
(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# AAII ブル指数-ベア指数とS&P500

ブルーベア  
(単位：pt)

期間：1987/7/24～2022/9/22

S&P500  
(単位：pt)



過去に現在の水準まで下がったケース		ブルーベア(pt)	S&P500 (pt)	S&P500変化率
①	1990/10/19	-54.0	312.48	-
1ヶ月後	1990/11/23	-31.0	315.10	0.8%
3ヶ月後	1991/1/25	-25.0	336.07	7.5%
6ヶ月後	1991/4/19	17.0	384.20	23.0%
1年後	1991/10/25	-2.0	384.20	23.0%
②	2009/3/6	-51.4	683.38	-
1ヶ月後	2009/4/10	-8.6	856.56	25.3%
3ヶ月後	2009/6/12	0.0	946.21	38.5%
6ヶ月後	2009/9/11	-6.7	1,042.73	52.6%
1年後	2010/3/12	20.0	1,149.99	68.3%

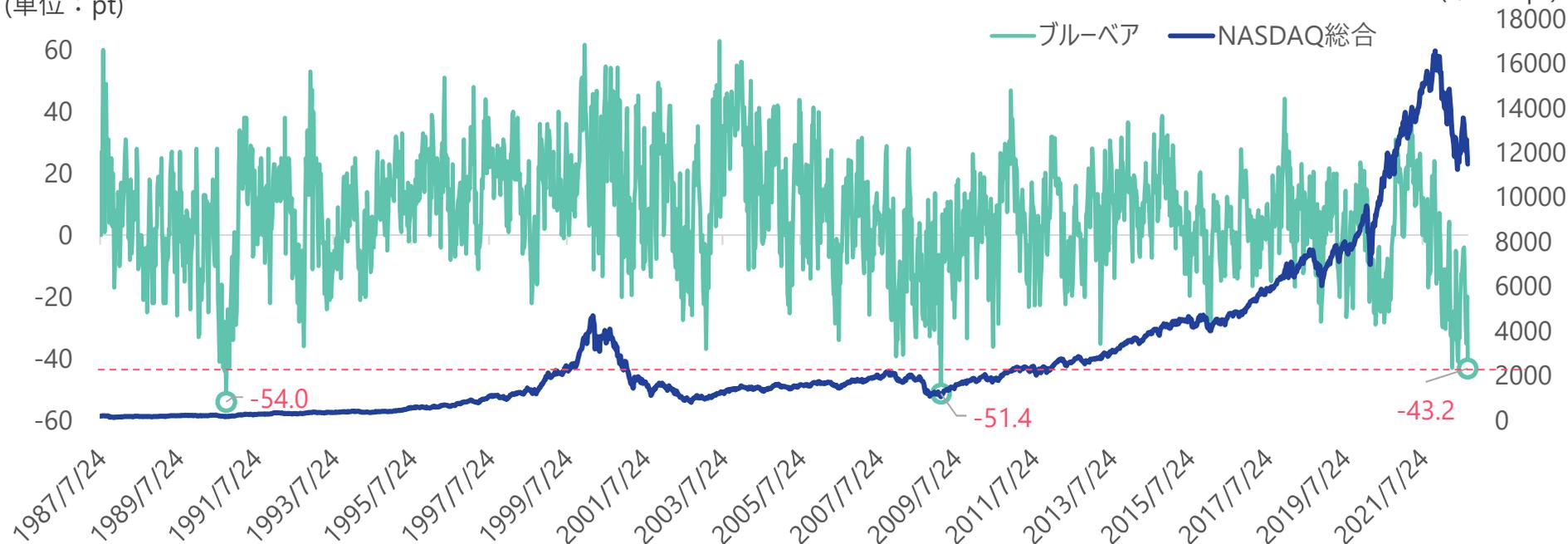
(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# AAII ブル指数-ベア指数とNASDAQ総合

ブルーベア  
(単位：pt)

期間：1987/7/24～2022/9/22

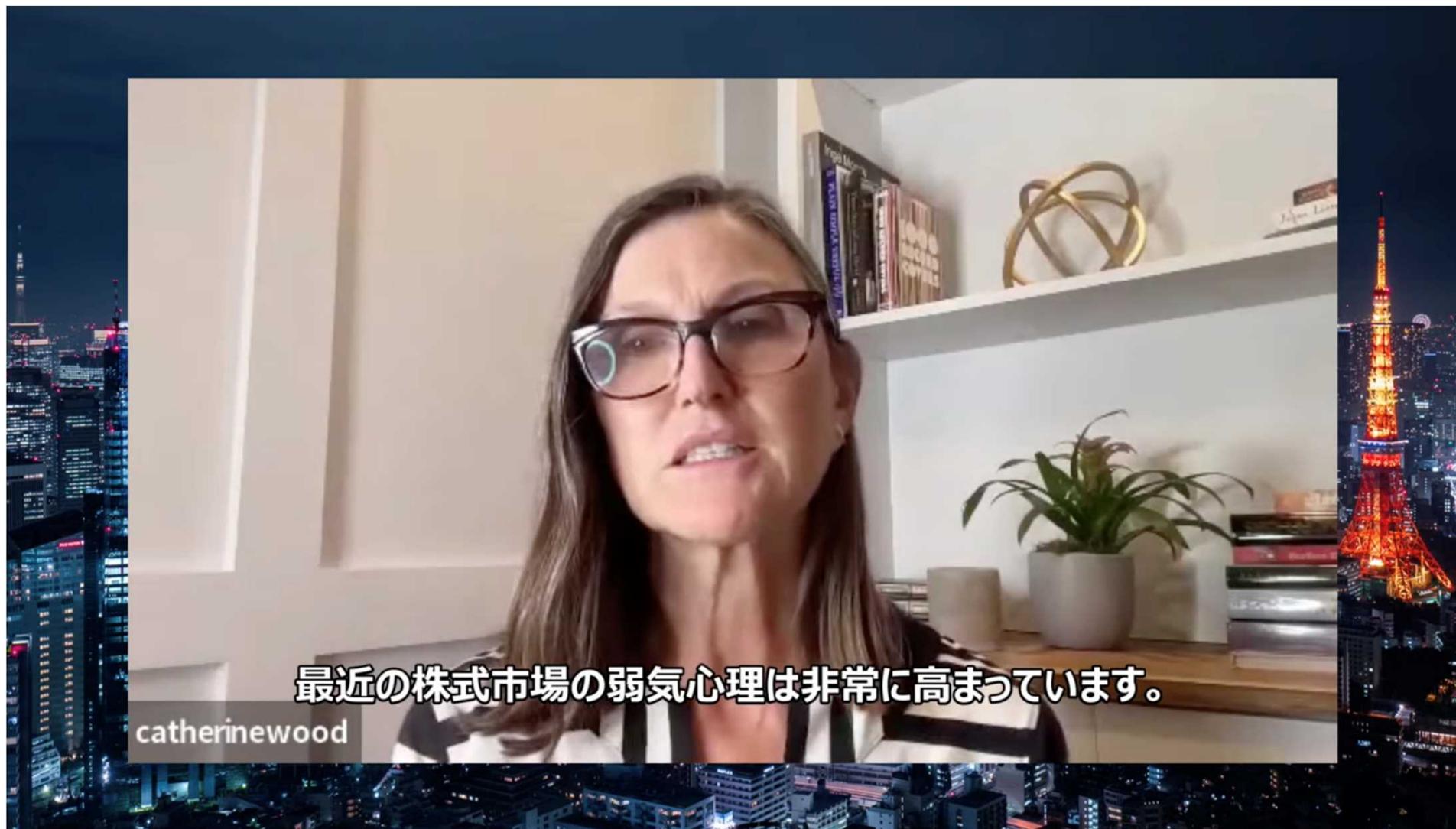
NASDAQ総合  
(単位：pt)



過去に現在の水準まで下がったケース		ブルーベア (pt)	NASDAQ総合 (pt)	NASDAQ変化率
①	1990/10/19	-54.0	174.62	-
	1ヶ月後	1990/11/23	184.28	5.5%
	3ヶ月後	1991/1/25	221.02	26.6%
	6ヶ月後	1991/4/19	274.01	56.9%
	1年後	1991/10/25	282.94	62.0%
②	2009/3/6	-51.4	1,064.70	-
	1ヶ月後	2009/4/10	1,340.28	25.9%
	3ヶ月後	2009/6/12	1,489.97	39.9%
	6ヶ月後	2009/9/11	1,685.46	58.3%
	1年後	2010/3/12	1924.4301	80.7%

(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

アークインベスト キャシー・ウッドさん



最近の株式市場の弱気心理は非常に高まっています。

catherinewood

「ここまで弱気心理が高まると、それが間違いであることが確率も高く、  
株式市場の回復が近いと思っています」

(出所：マネックス証券 ハッチの米国株マーケットセミナー9月号)

「ニュースが少し良く見える頃には、市場はすでに回復しています。そして、回復を逃した場合、ファイナンシャルゴールを達成するのが難しくなる可能性が非常に高くなります」

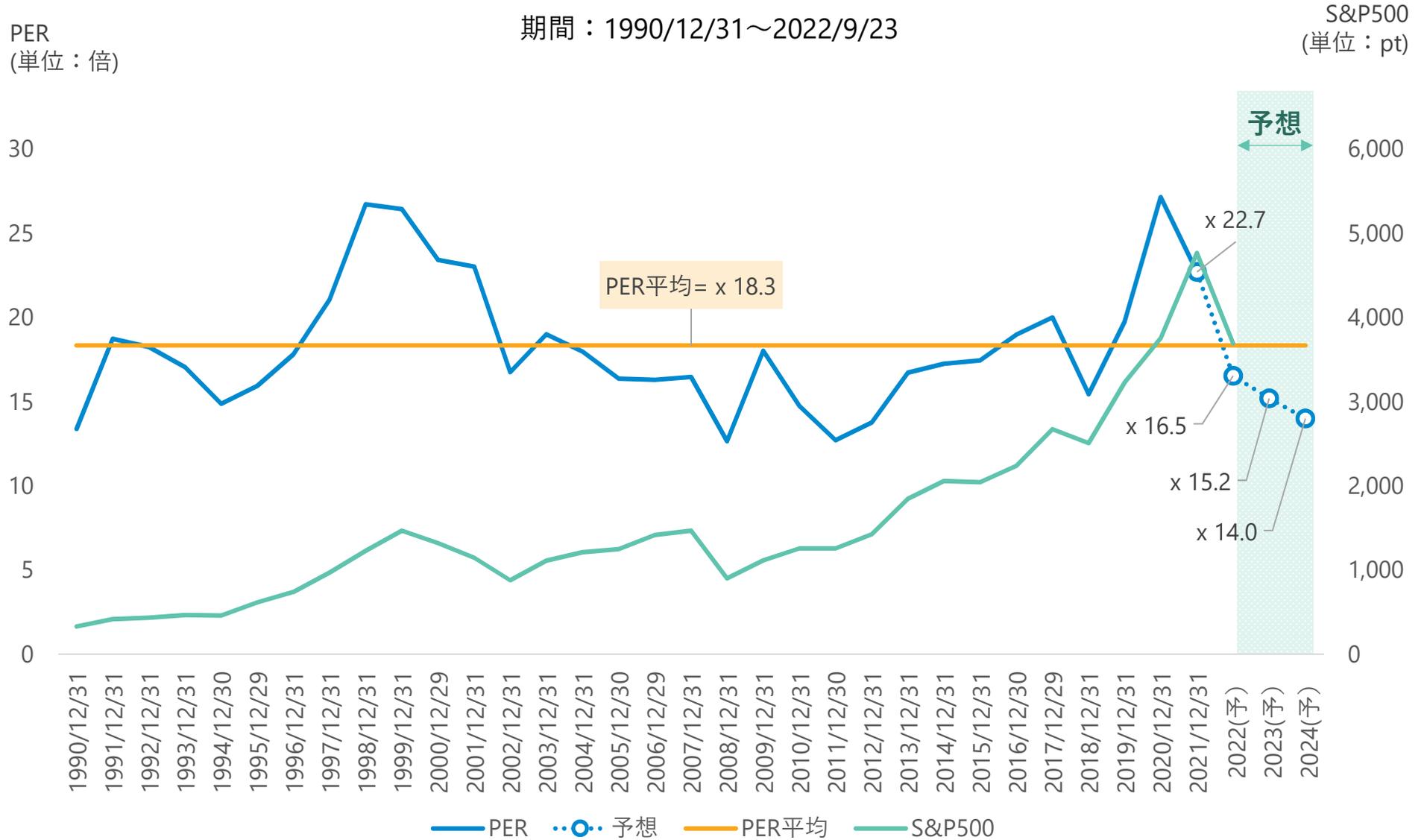
シヨン M. ピアソン、  
ファイナンシャル・アドバイザー  
アメリプライズ・ファイナンシャル

(出所 : CNBC)



2022年6月23日のセミナー動画から

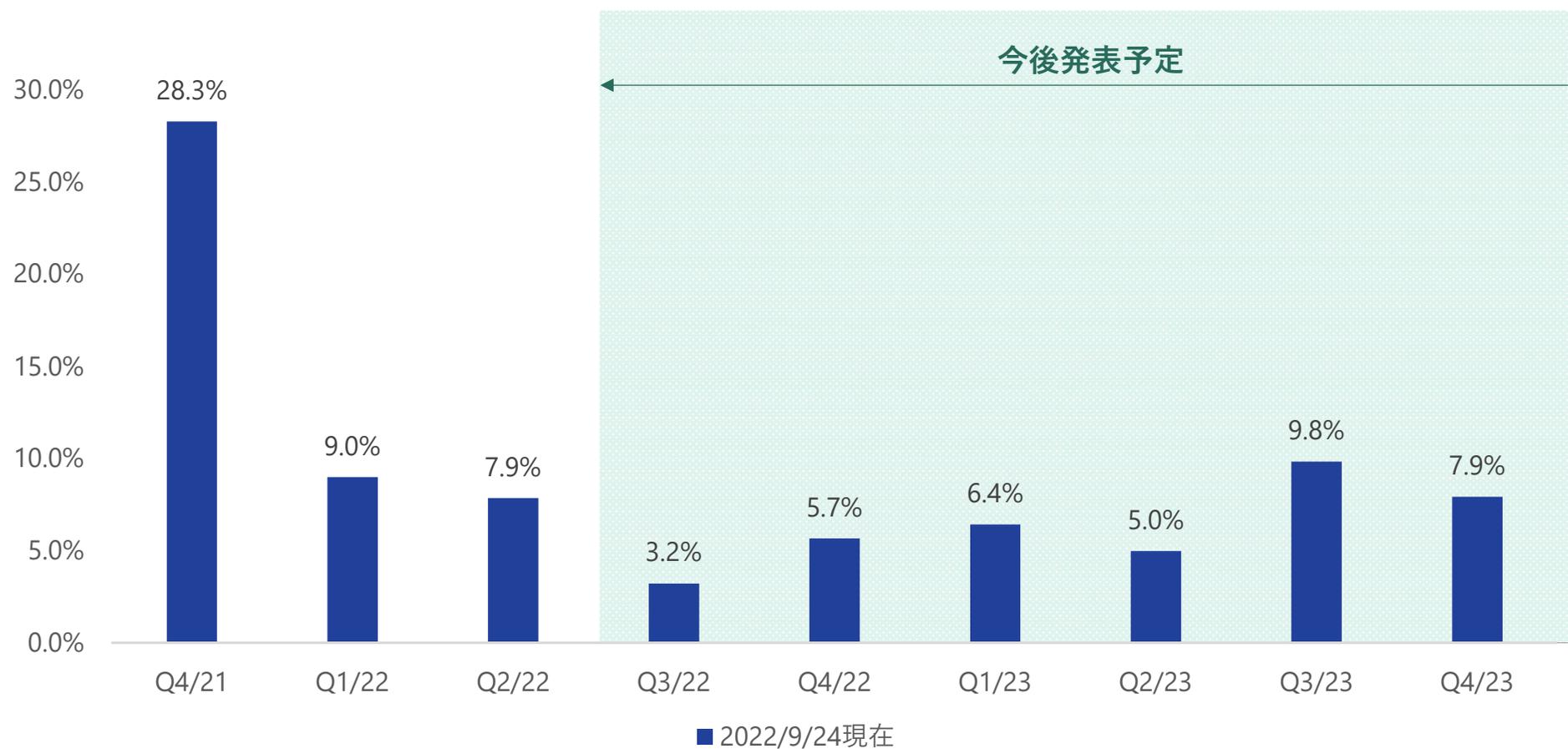
# S&P500のPER推移



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# 米国企業業績の見通し S&P500EPS成長率予想【四半期】

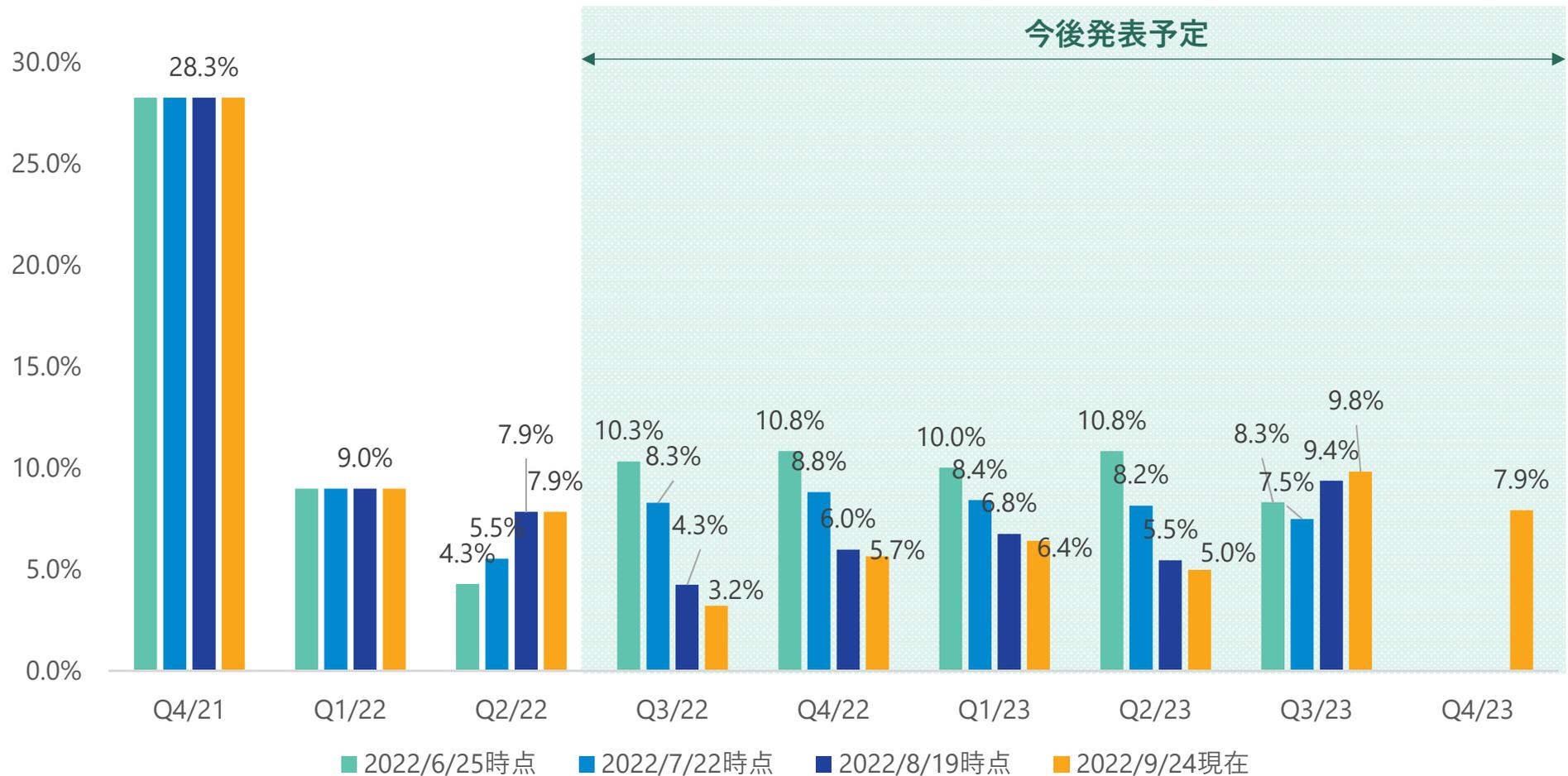
期間：2021/Q4～2023/Q4



# 米国企業業績の見通し

## S&P500EPS成長率予想【四半期】

期間：2021/Q4～2023/Q4  
 2022/6/25、2022/7/22、2022/8/19、2022/9/24時点の比較



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

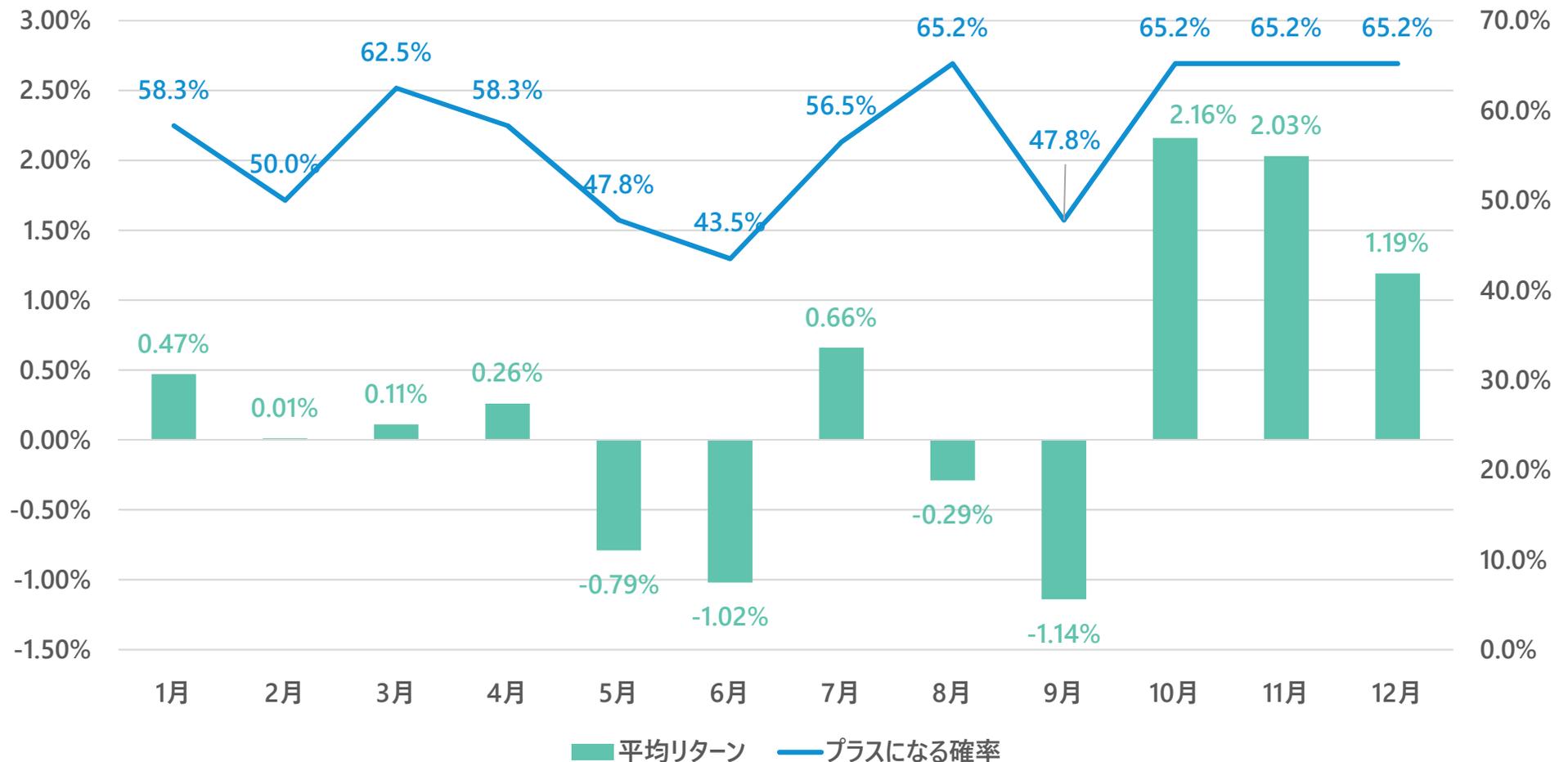
# S&P500 1ヶ月毎のリターンとプラスになる確率

大統領就任2年目 中間選挙の年

S&P500  
平均リターン

(期間：1930～2022年)

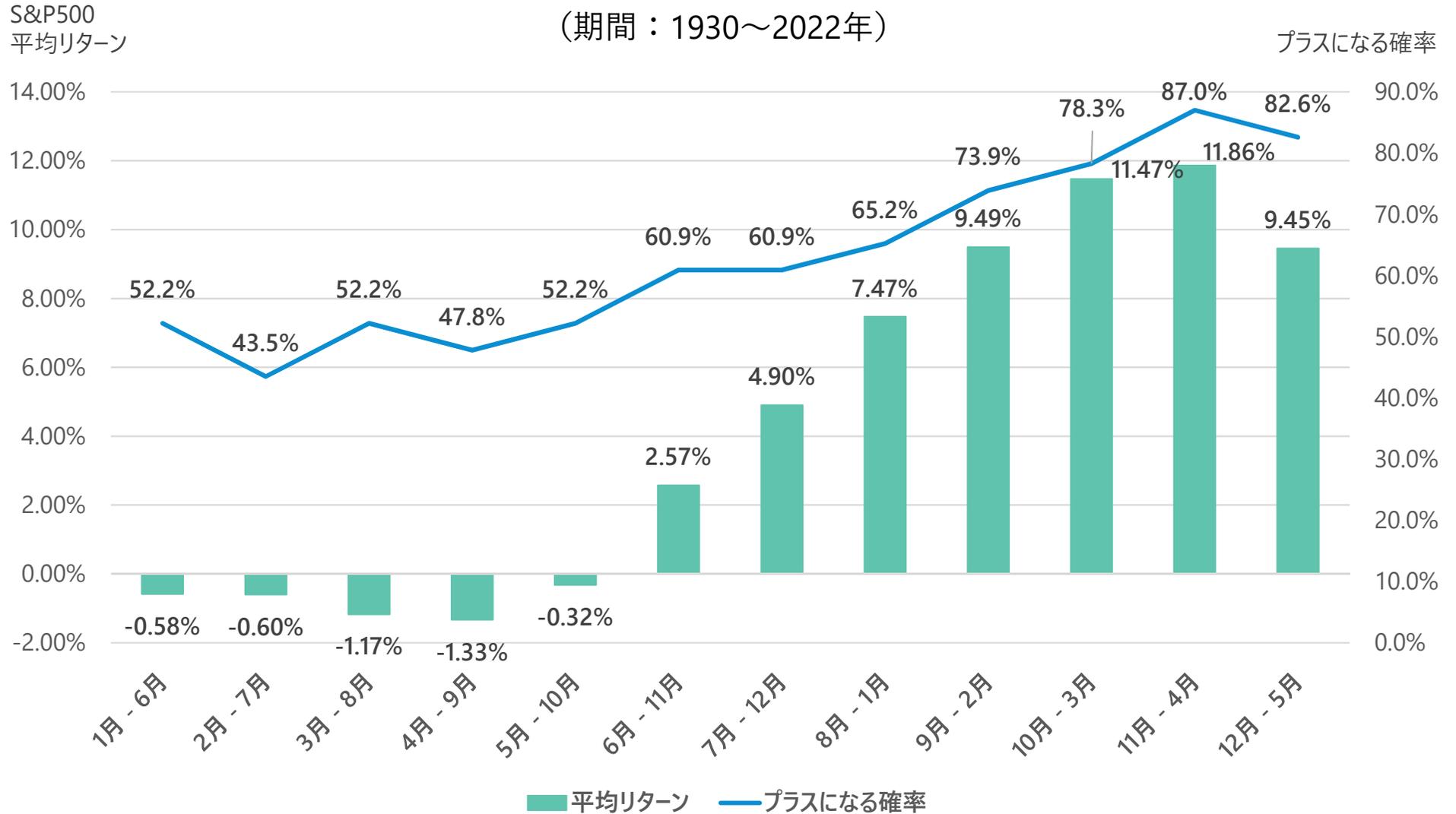
プラスになる確率



(出所：BofA Global Research よりマネックス証券作成)

# S&P500 6ヶ月毎のリターンとプラスになる確率

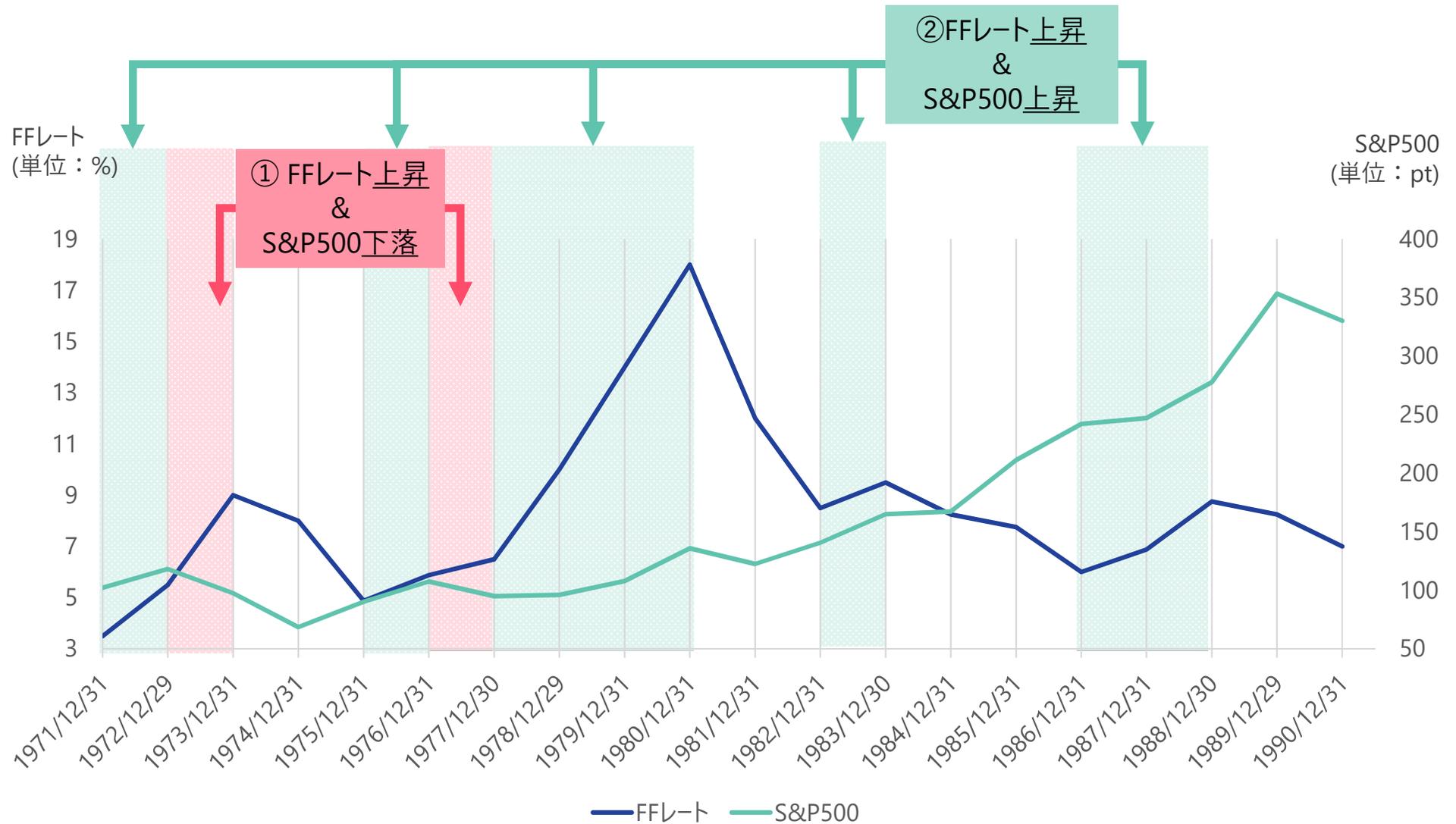
大統領就任2年目 中間選挙の年



(出所：BofA Global Research よりマネックス証券作成)

# 金利上昇時の株価の動き

(期間：1971/12/31～1990/12/31)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# 日米株価 年間リターン比較 円ベース



## TOPIX

プラスの年の確率 = 59.4%

平均リターン = 2.9%

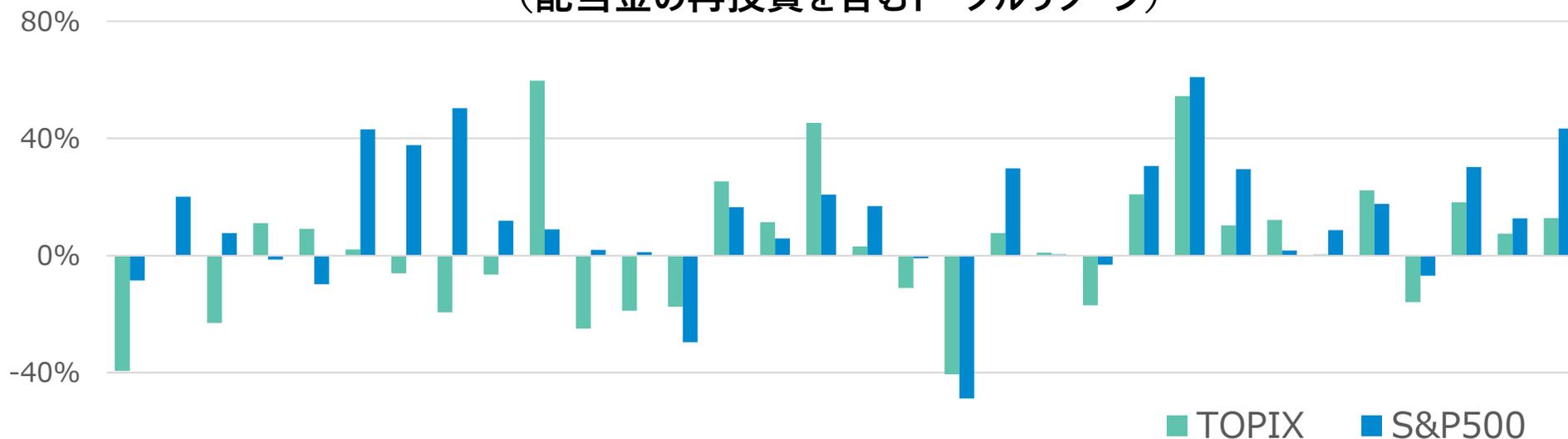


## S&P500

プラスの年の確率 = 75.0%

平均リターン = 12.4%

S&P500 vs TOPIX  
(配当金の再投資を含むトータルリターン)



	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
TOPIX	-39%	0%	-23%	11%	9%	2%	-6%	-19%	-7%	60%	-25%	-19%	-17%	25%	11%	45%	3%	-11%	-41%	8%	1%	-17%	21%	54%	10%	12%	0%	22%	-16%	18%	7%	13%
S&P500	-9%	20%	8%	-1%	-10%	43%	38%	50%	12%	9%	2%	1%	-30%	16%	6%	21%	17%	-1%	-49%	30%	0%	-3%	31%	61%	29%	2%	9%	18%	-7%	30%	13%	43%

# ウォーレン・バフェットの投資教訓トップ5



- #1 長期投資の力を信じること
- #2 相場の下落を恐れないこと
- #3 手元に現金を用意しておくこと
- #4 最悪のことが起きる前に自身に投資しておくこと
- #5 大事なのは投資をするタイミングではなく、投資を継続すること

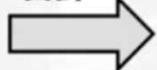
# 「ハッチの積み立て投資クラブ」

## 成績公開！ハッチの米国つみたて投資

(単位：円)

口座区分	計算開始日 最終更新日	評価金額	累計受取分配金額 (うち再投資)	累計売付金額	累計買付金額 (うち再投資)	トータルリターン
① eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500) <+15.55%>						
特定	2020/12/4 2022/8/31	481,854	0 (0)	0	417,000 (0)	+64,854
② iFreeNEXT NASDAQ100インデックス <+7.88%>						
特定	2020/12/1 2022/8/31	517,840	0 (0)	0	480,000 (0)	+37,840
③ iFreeNEXT FANG+インデックス <+2.16%>						
特定	2021/10/29 2022/8/31	138,940	0 (0)	0	136,000 (0)	+2,940
④ eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー) <+3.41%>						
特定	2022/1/26 2022/8/31	67,737	0 (0)	0	65,500 (0)	+2,237

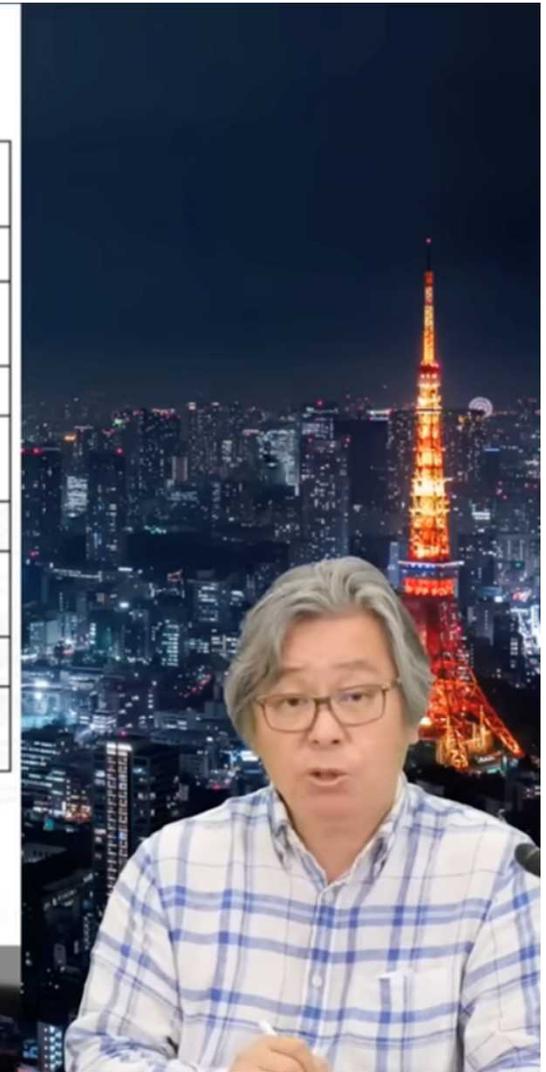
①②③④  
合計



1,098,500円の投資が

1,206,371円 (+9.81%) に！

※本スライドの投資成績は、岡元兵八郎（ハッチ）の証券総合取引口座で「毎日つみたて」を利用して指定の金額ずつファンドを買付けた結果です。ただし一部の期間においては買付金額が通常と異なります。詳細は本資料の最後に表示されるご注意事項をお読みください。  
※過去の情報であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金は考慮していません。



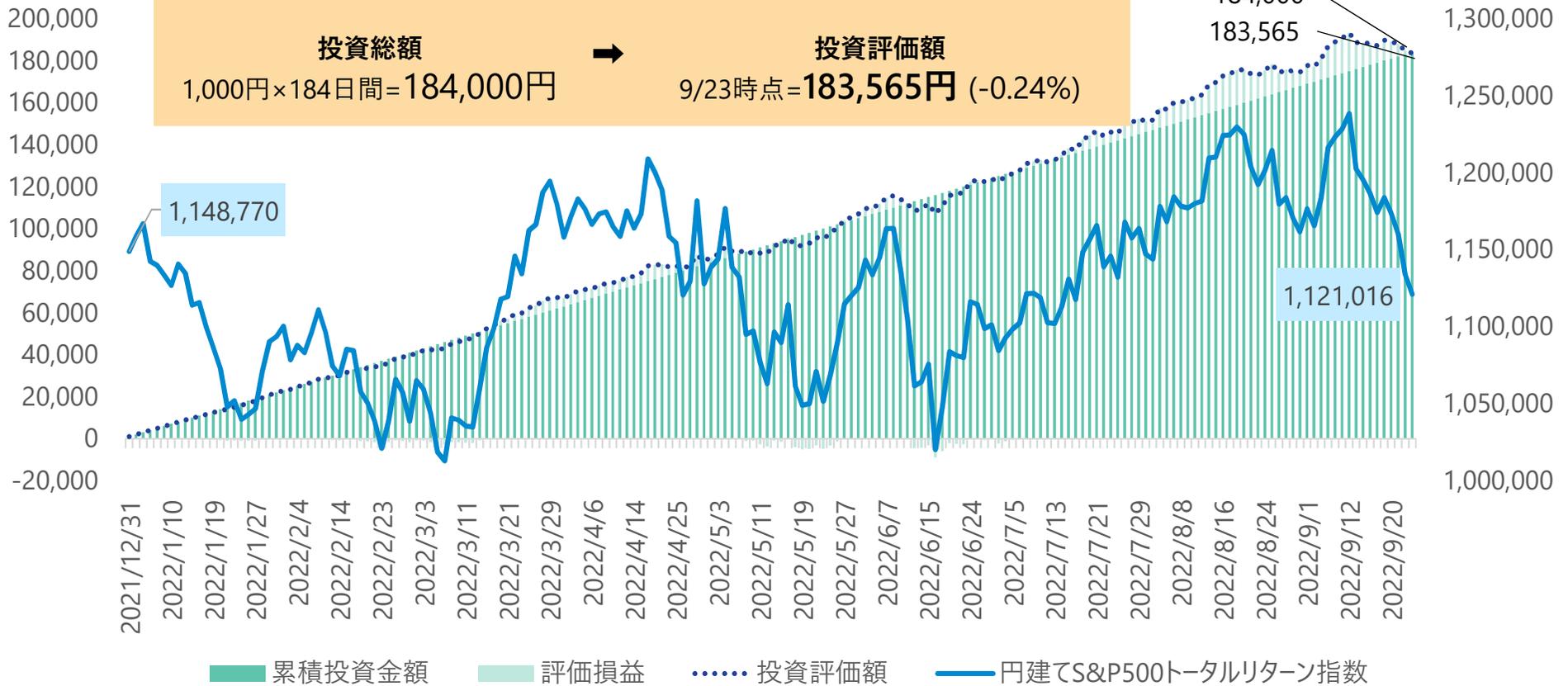
# 円建てS&P500トータルリターン指数に 毎日1,000円つみたて投資した場合

期間：2021/12/31～2022/9/23

投資金額  
投資評価額  
(単位：円)



円建てS&P500  
トータルリターン指数  
(単位：円)

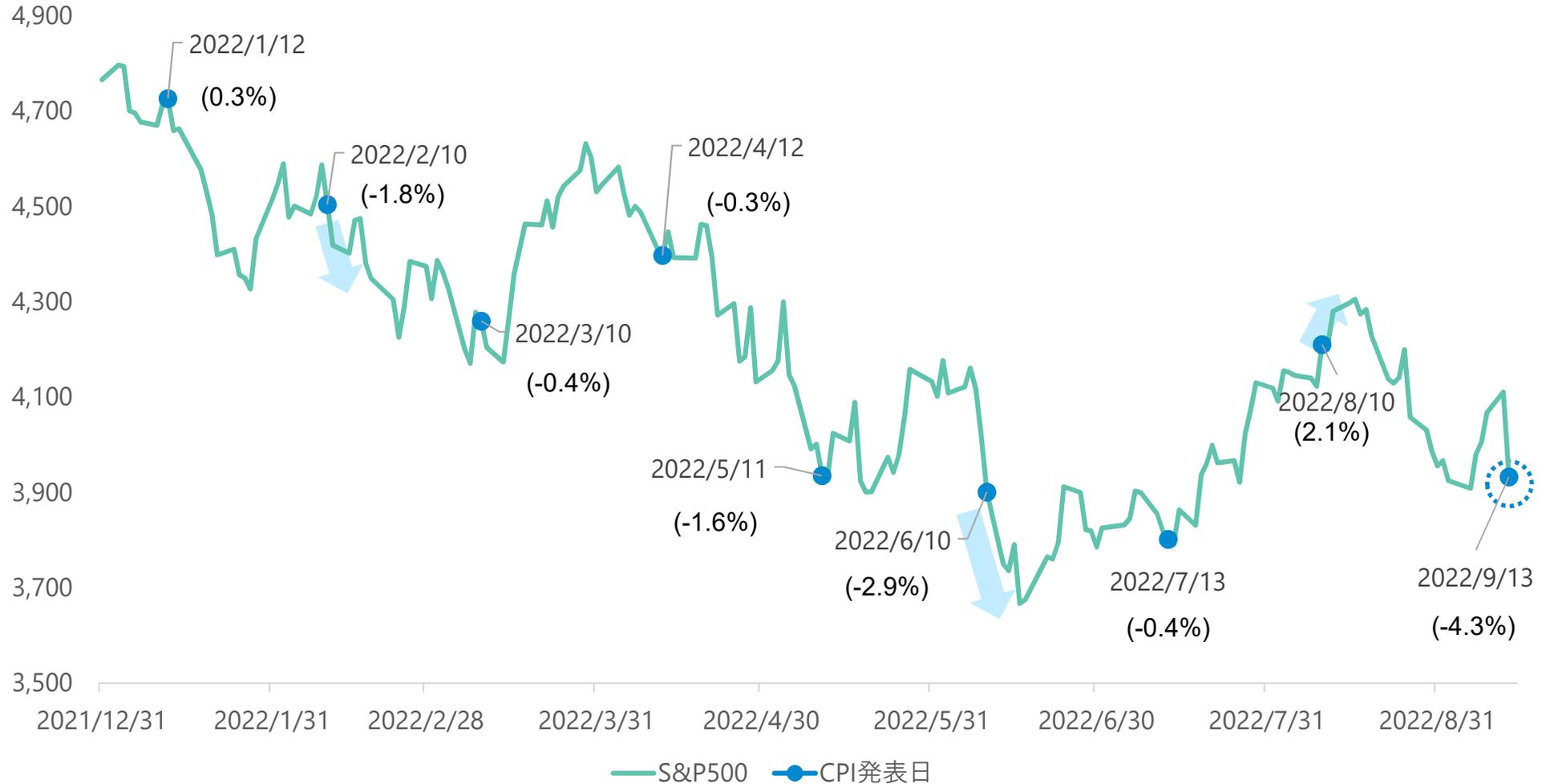


# S&P500の推移とCPI発表日

期間：2021/12/31～2022/9/13

S&P500  
(単位：pt)

( )内はS&P500前日比

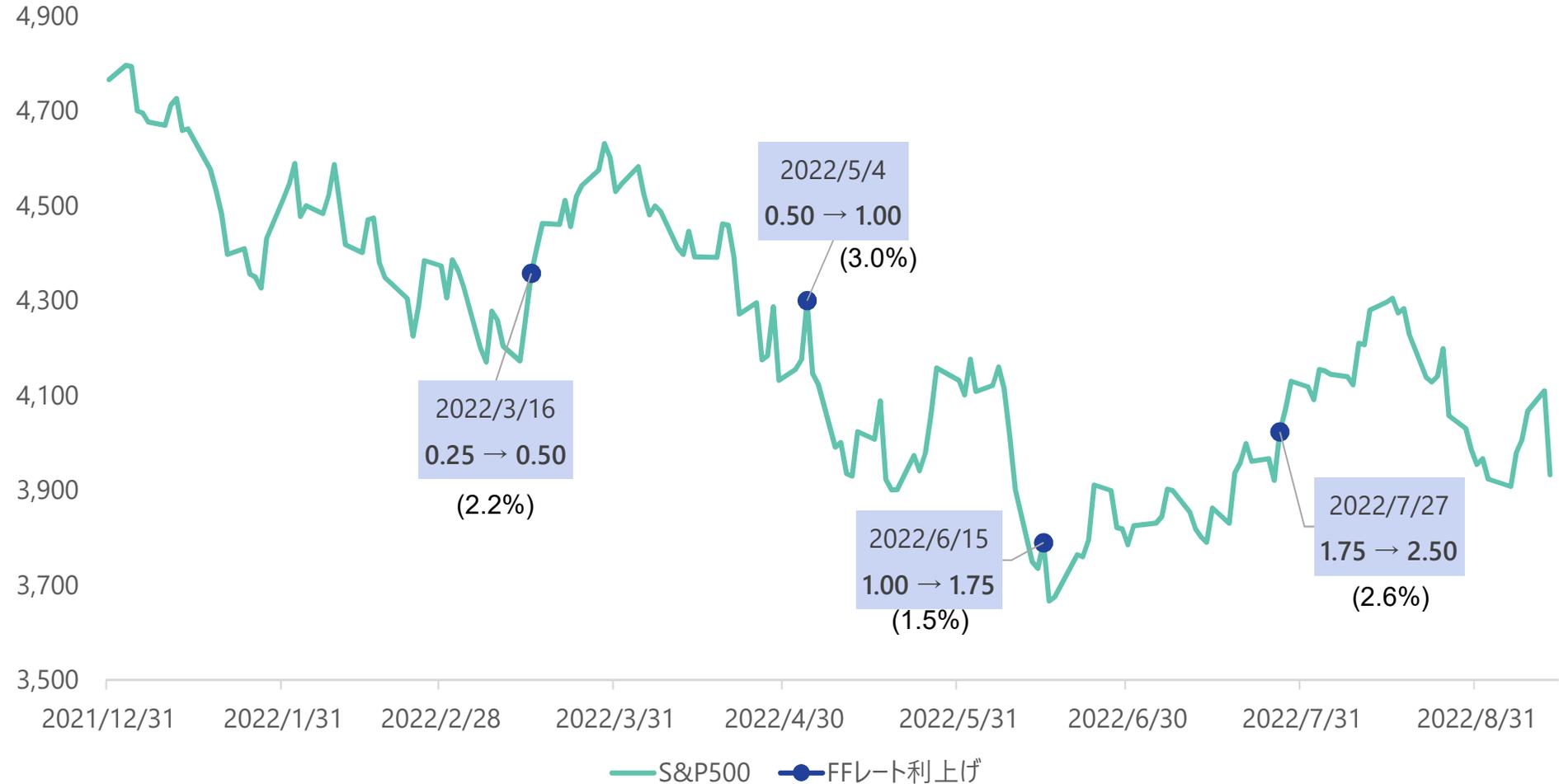


# S&P500の推移と利上げタイミング

期間：2021/12/31～2022/9/13

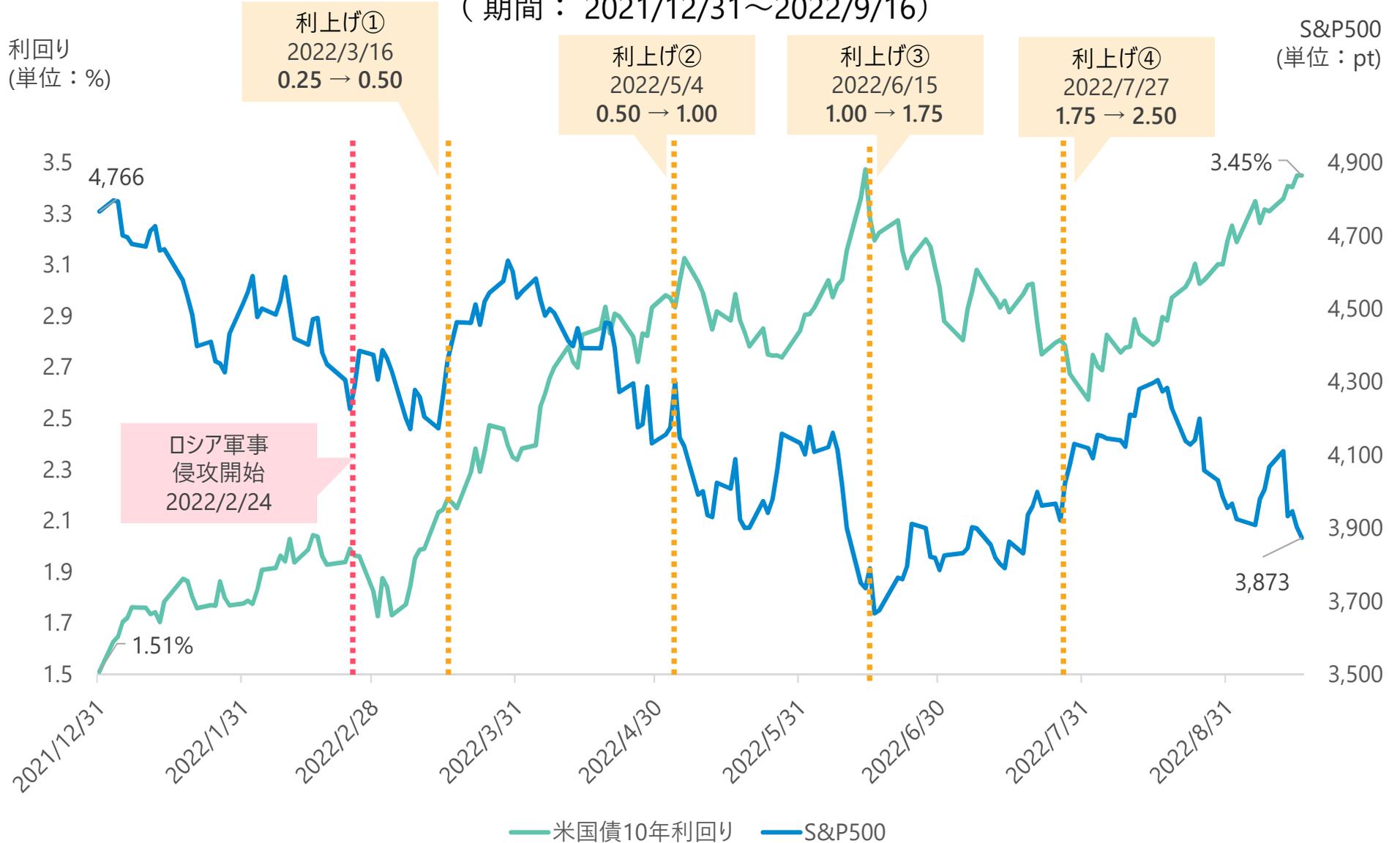
S&P500  
(単位：pt)

( )内はS&P500前日比



# S&P500と米国債10年利回り

(期間：2021/12/31～2022/9/16)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# 高配当を狙った 長期投資のススメ



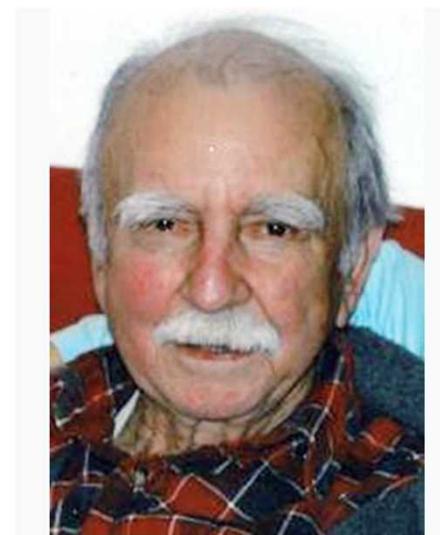
# ロン・リードさんについて

生誕： 1921年10月23日

死没： 2014年6月2日（享年92歳）

国籍： アメリカ合衆国

職業： 慈善家  
投資家  
管理人  
ガソリンスタンド店員



# 生い立ち

- バーモント州の貧しい農家で生まれる。家族で初めて高校へ通う。高校まで毎日6.4キロの道のりをヒッチハイクか歩いて通学
- 第二次世界大戦で徴兵され、イタリアで憲兵となる。バーモント州へ戻り25年間ガソリンスタンドの店員を務めた後、1997年まで17年間、百貨店のJCペニーでパートタイムのマネージャーとして働く
- 2014年に死亡後、ブルックス・メモリアル・ライブラリーへ120万ドル（約1.4億円）、ブラッテルボロー・メモリアル病院へ480万ドル（約5.7億円）寄付をする。

(2014年12月31日時点為替レート：1ドル=119.78円)

2014年ロンさんは800万ドル（約9.58億円）  
の資産を保有していたことが判明

どうやって投資を？

ブルーチップ中心  
（優良銘柄）

高配当  
銘柄

Buy& Hold の  
長期分散投資

+

**辛抱** → **複利の力**

彼の亡くなる前の毎月の配当金はおおよそ  
**2万ドル（約240万円）**

「彼は優れた銘柄ピッカーであるだけでなく、驚くべき儉約と忍耐を示した。それが彼に長期にわたる複利の成長をもたらした」

ウォール・ストリート・ジャーナル 2015年3月19日

## ロンさんのポートフォリオの一部

J.M.スマッカー  
(SJM)

CVSヘルス  
(CVS)

ジョンソン&  
ジョンソン  
(JNJ)

ゼネラル・  
エレクトリック  
(GE)

P&G  
(PG)

ダウ・ケミカル  
(DOW)

JPモルガン  
チェース  
(JPM)

全部で95銘柄  
以上を保有

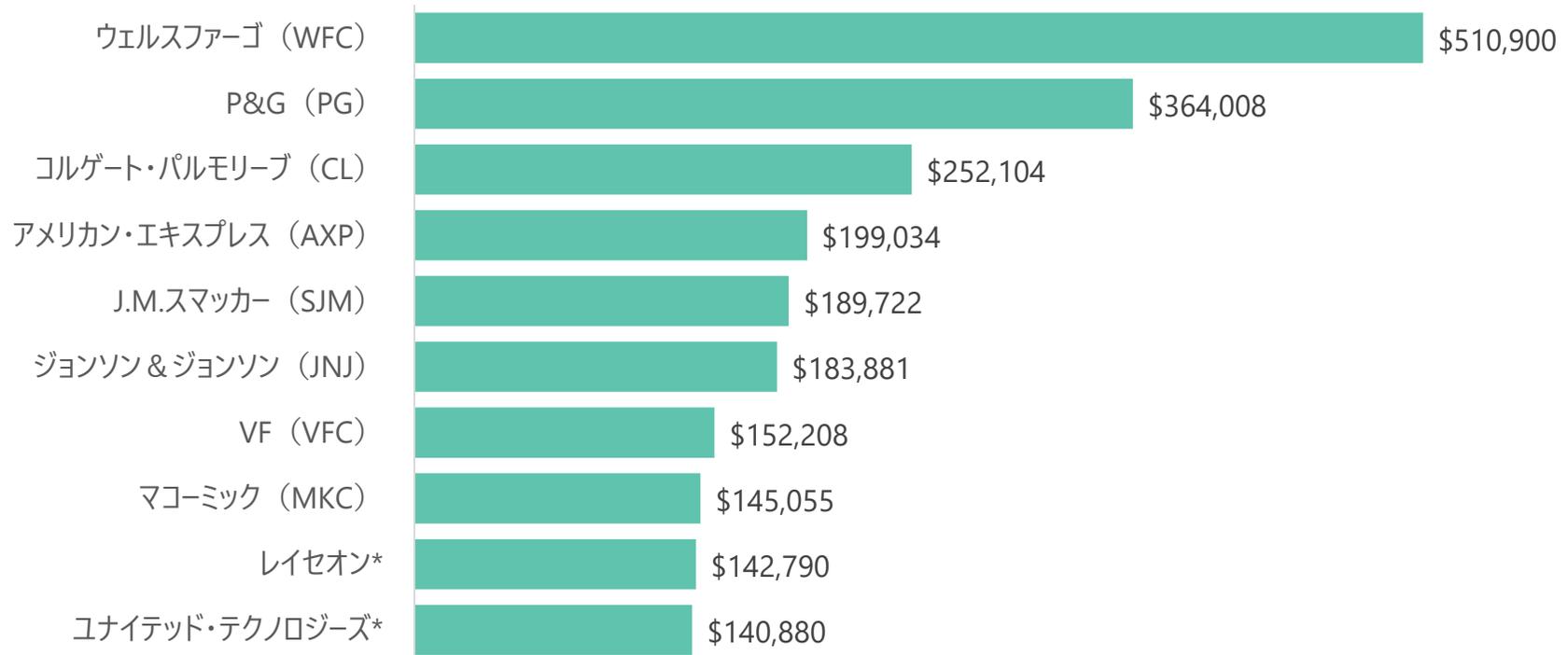
## これらの配当金をたっぷり払う企業にフォーカス

\* リーマンショックの時に破綻したリーマン・ブラザーズの株も保有していたが、ポートフォリオが分散化されていたので損失は限定的だった

# ロンさんが保有していた銘柄の例

儉約、勤勉に加え、何十年も株式を長期保有し、辛抱強く配当を再投資した結果

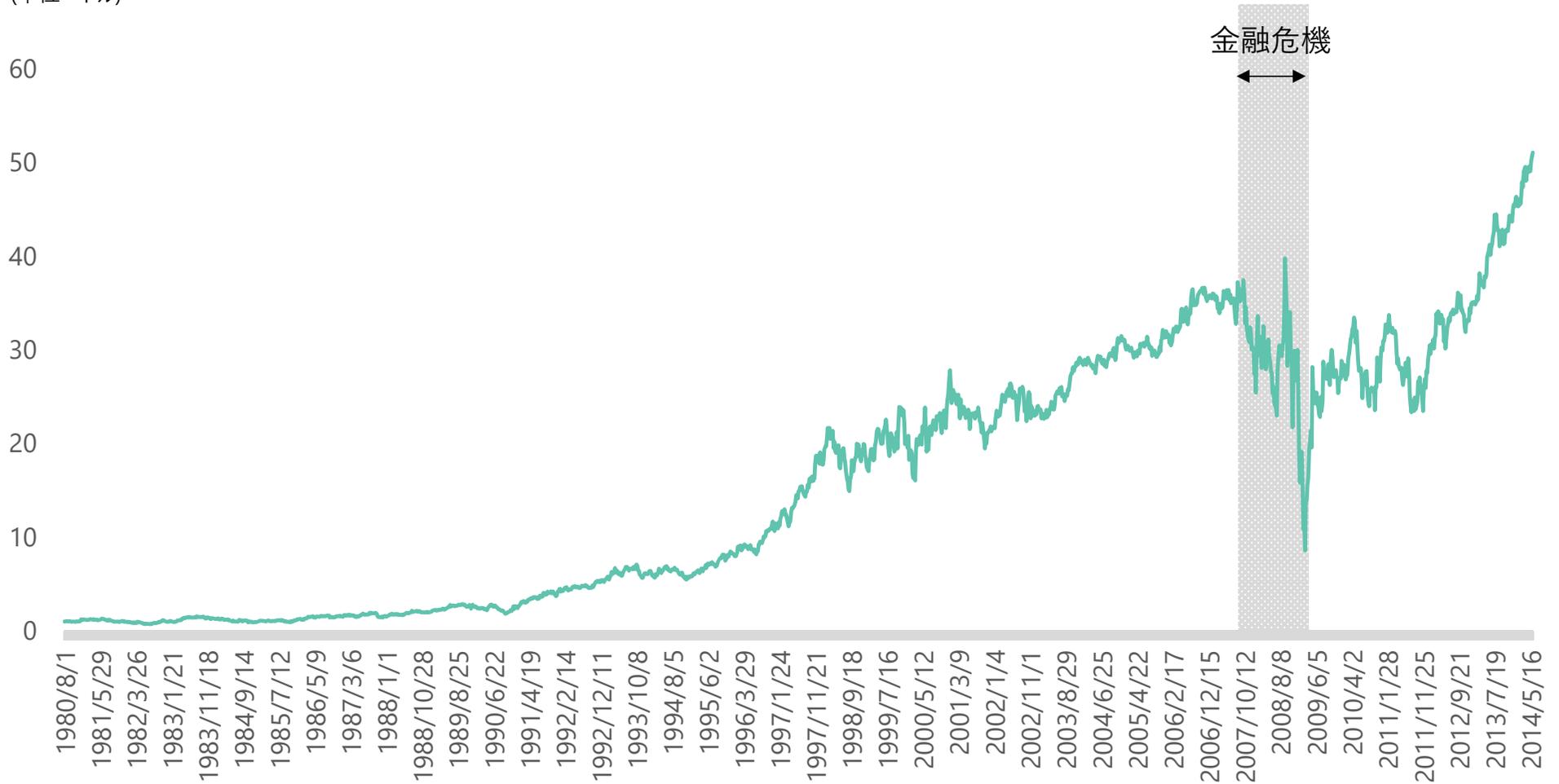
## ロンさんの死没時のポートフォリオトップ10銘柄



\* 2020年4月にレイセオンとユナイテッド・テクノロジーズが経営統合し、**レイセオン・テクノロジーズ (RTX)** が設立された

# ウェルス・ファースト (WFC)

(単位：ドル)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

# S&P500の長期リターン

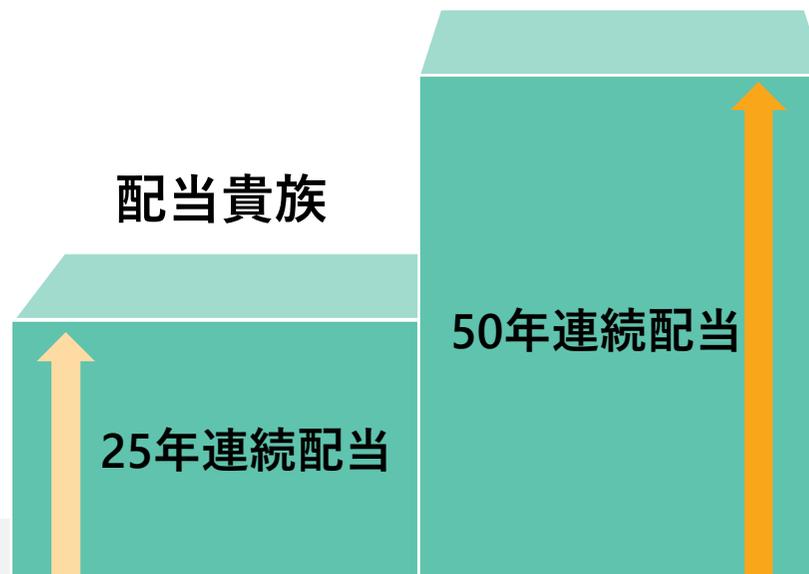
配当金がリターンに寄与する割合は  
投資期間が長ければ長いほど大きくなる

	期間	株価の リターン (A)	配当金再投 資のリターン (B)	トータル リターン (A+B=C)	株価のリターン の割合	配当金再投資 のリターンの 割合
2012/9/21 - 2022/9/22	10年	157%	55%	212%	74%	26%
2002/9/20 - 2022/9/22	20年	345%	215%	560%	62%	38%
1992/9/18 - 2022/9/22	30年	789%	711%	1,500%	53%	47%
1982/9/21 - 2022/9/22	40年	2,909%	4,880%	7,789%	37%	63%

# 配当貴族 & 配当王



配当王



- ・ 配当王とは、クラス最高レベルの配当成長銘柄
- ・ 長期に保有すればするほど、資産形成のチャンスが大きくなる

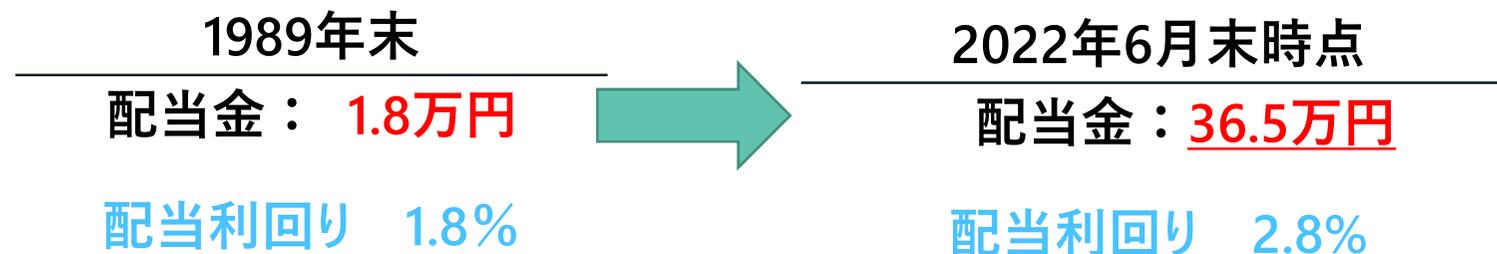


# コカコーラ (KO)に 1989年末に100万円投資した場合

## 株価の リターン



## 配当金の リターン



1989年末の100万円への  
投資に対する配当利回り：  
約37%

※見込み

※過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成。手数料、税金は考慮していません。

1989年末に100万円投資したと仮定。1989年末の株価と配当金：\$ 4.83、\$0.085。2022年6月末の株価と予想配当金：\$62.91、\$1.76)

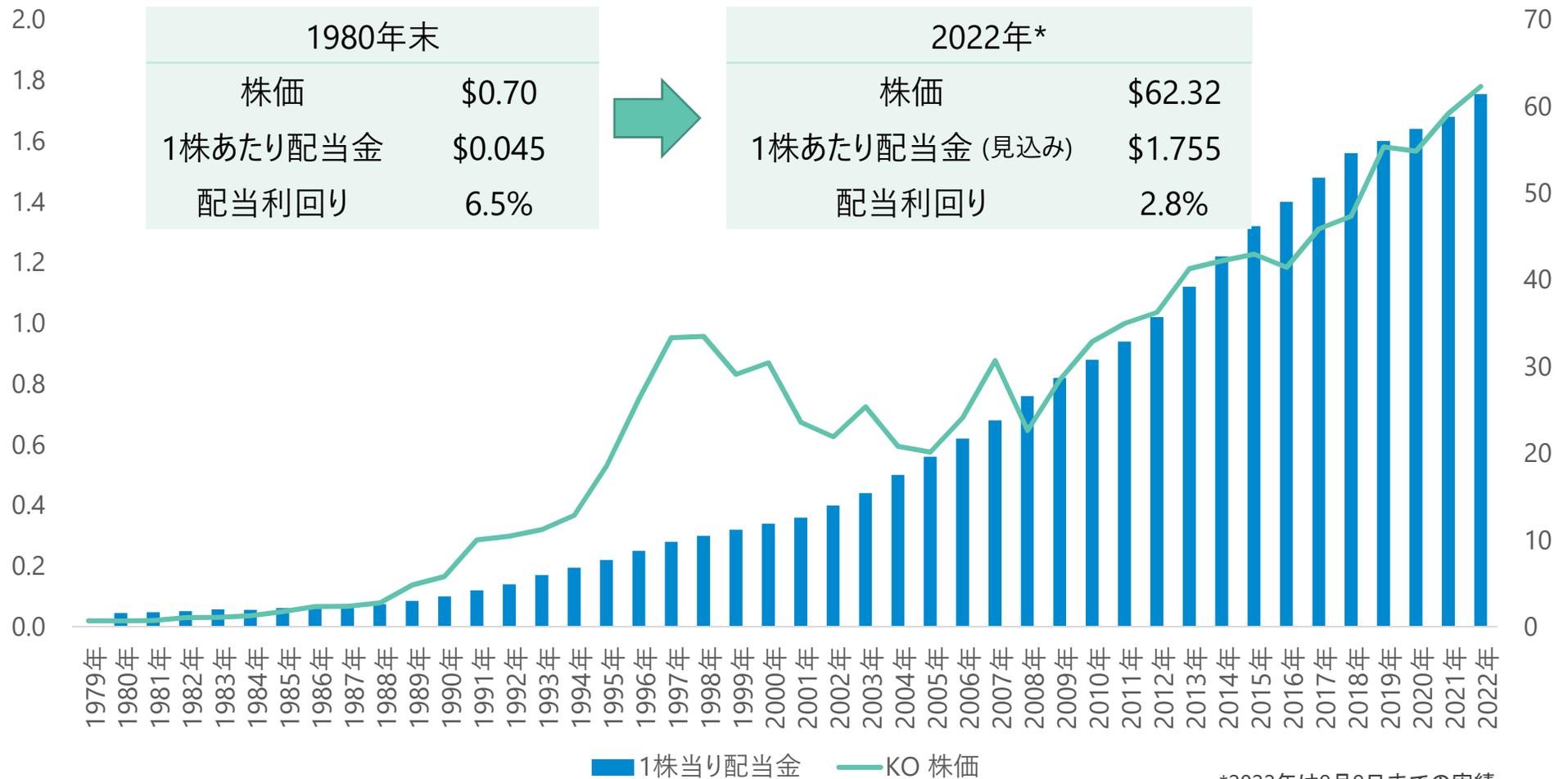


# コカ・コーラ (KO) 株価と配当金の推移

一株あたり配当金  
(単位：ドル)

期間：1979/12/31～2022/9/9

KO株価  
(単位：ドル)



\*2022年は9月9日までの実績

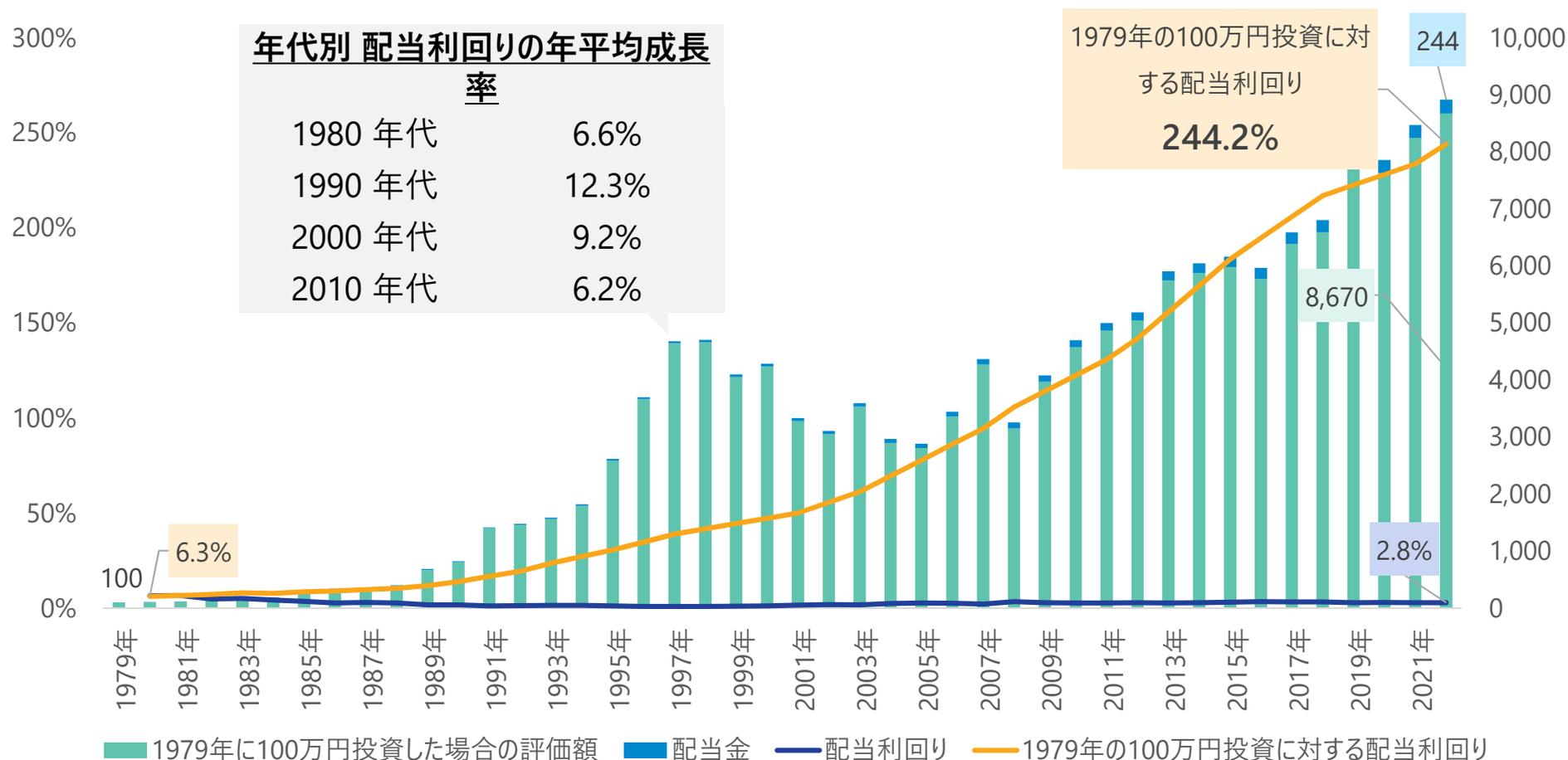


# コカ・コーラ（KO）1979年末に100万円投資したと仮定した場合の配当利回り

配当利回り  
(単位：%)

期間：1979年～2022年\*

投資・配当金額  
(単位：万円)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月9日までの実績。1980年末の株価と配当金：\$0.6953、\$0.045。 2022年9月9日の株価と予想配当金：\$62.32、\$1.755

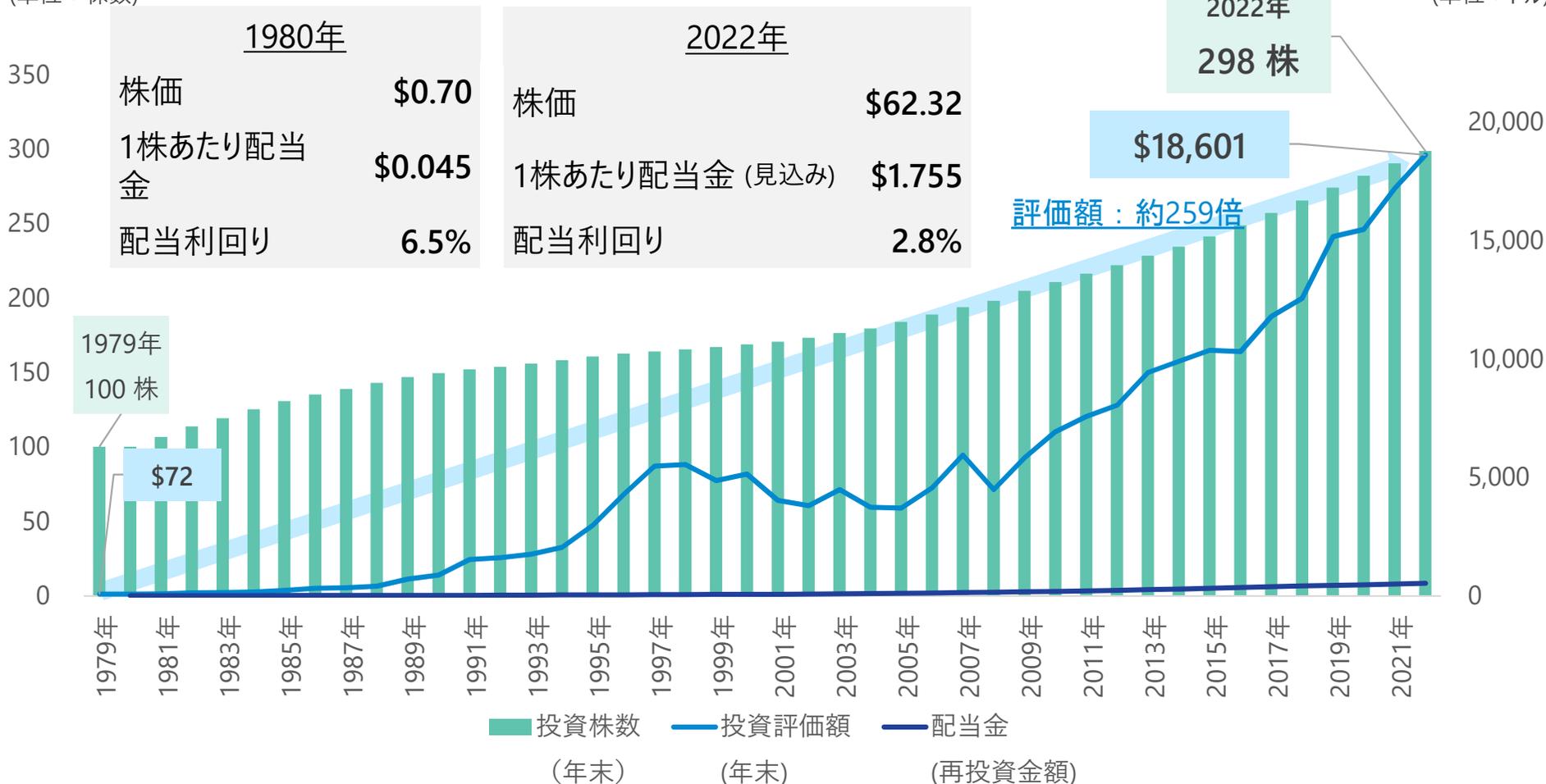


# コカ・コーラ（KO）1979年末に100株投資した場合の配当金再投資を含むリターン

投資株数  
(単位：株数)

期間：1979年～2022年\*

投資・配当金額  
(単位：ドル)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：それぞれ年末にその年の配当金で株式に再投資したものとします。手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月9日までの実績

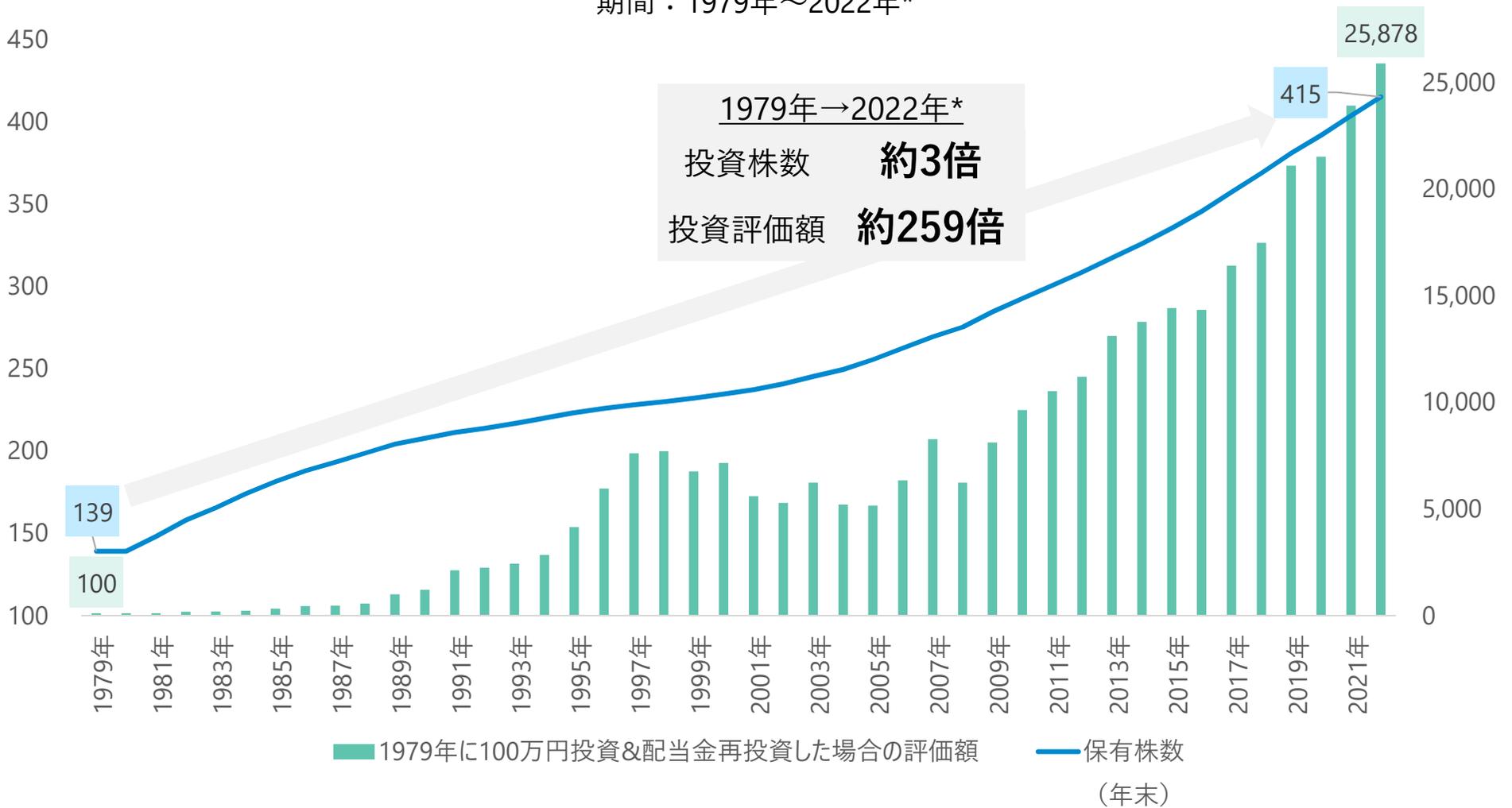


# コカ・コーラ（KO）1979年末に100万円投資 した場合の配当金再投資を含むリターン

保有株数  
(単位：株数)

評価額  
(単位：万円)

期間：1979年～2022年\*



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：それぞれ年末にその年の配当金で株式に再投資したものとします。手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月9日までの実績

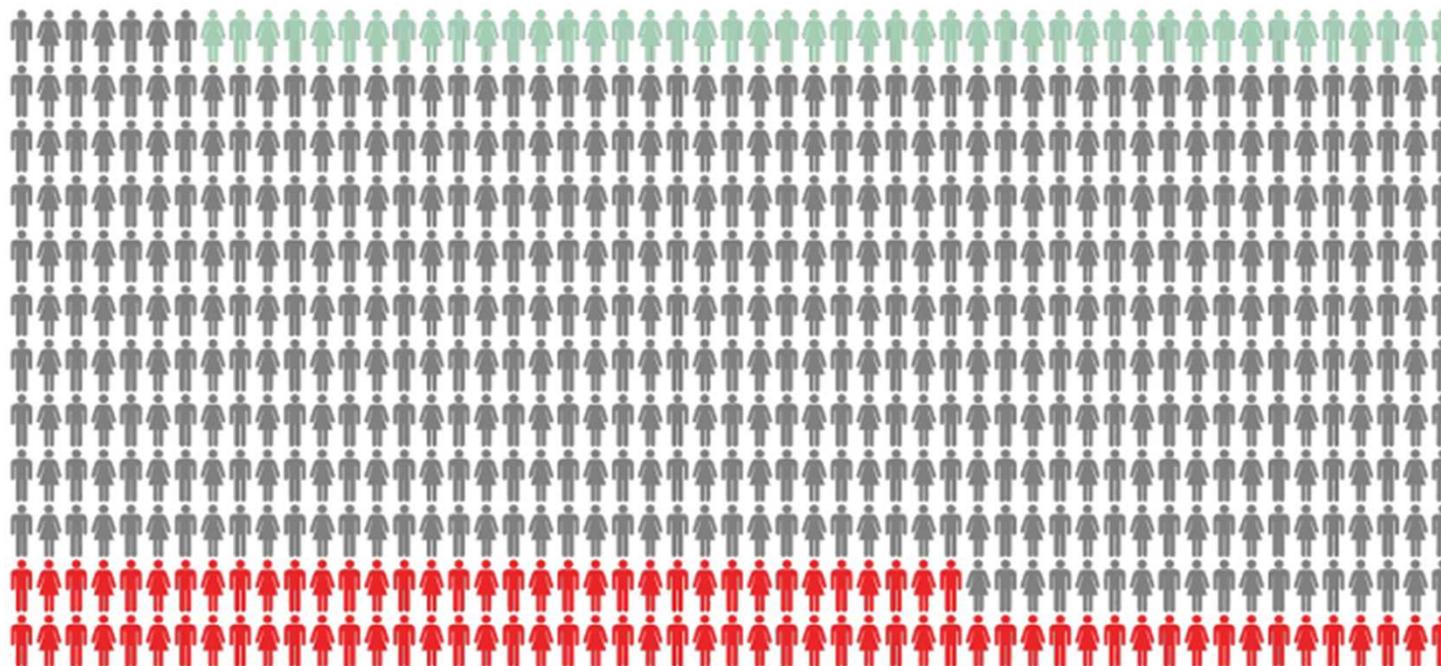


# コカ・コーラ (KO) 成長の機会

## グローバル規模

先進国  
マーケット  
(総人口の20%以下)

発展途上国  
・ 新興国  
マーケット  
(総人口の80%以上)



 コカ・コーラ消費者

 非消費者

 2030年迄に増加する人口

# 世界の人口推移

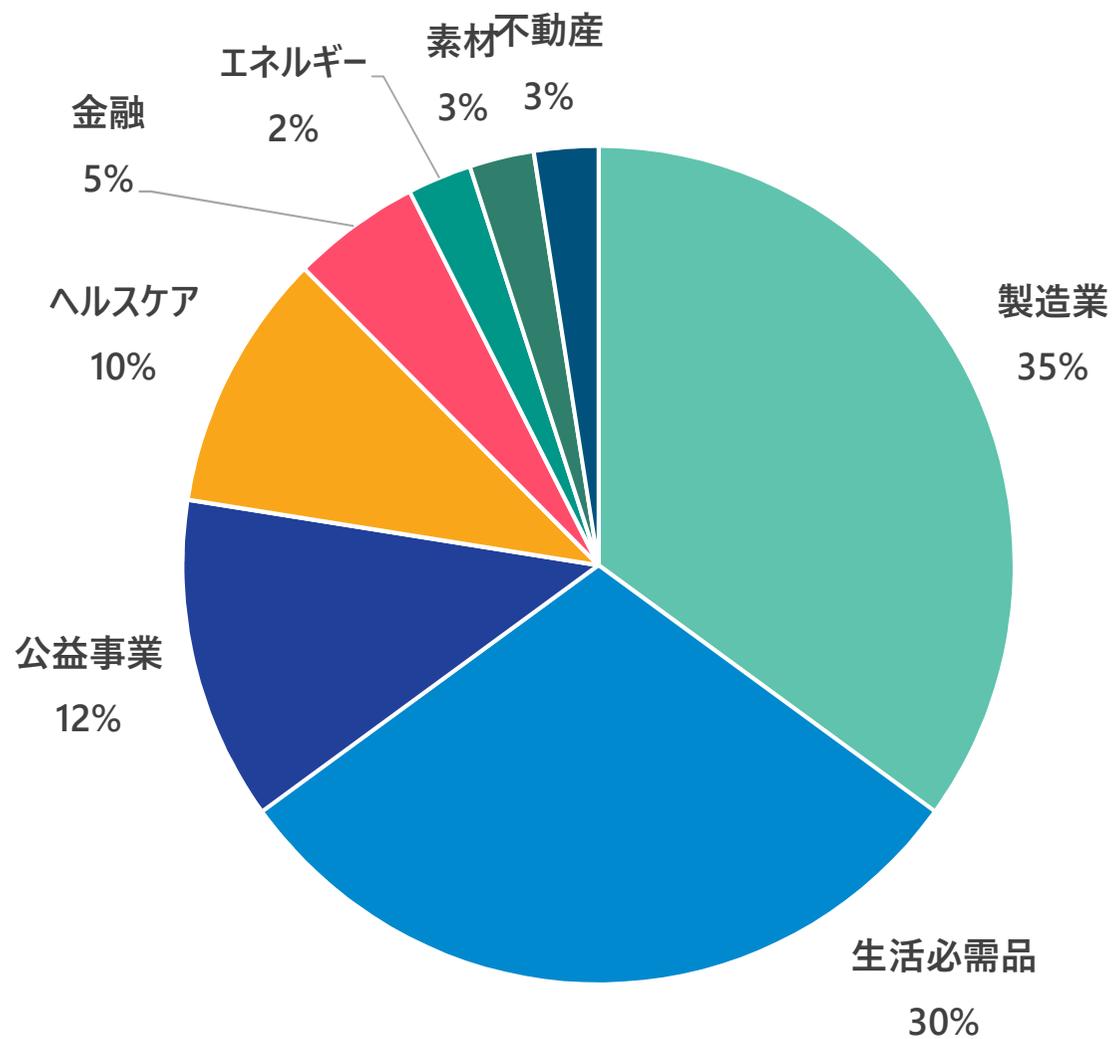


(単位：人)

# 配当王銘柄トップ40

#	企業名 (ティッカー)	セクター	#	企業名 (ティッカー)	セクター
1	アメリカン・ステイツ・ウォーター (AWR)	公益事業	21	フェデラル・リアルティ・インベストメント・トラスト (FRT)	不動産
2	ジェニユイン・パーツ (GPC)	生活必需品	22	コマース・バンクシェアーズ (CBSH)	金融
3	プロクター・アンド・ギャンブル (PG)	生活必需品	23	シスコ (SYY)	生活必需品
4	ノースウエスト・ナチュラル・ホールディング (NWN)	公益事業	24	MSAセーフティ (MSA)	製造業
5	ドーバー (DOV)	製造業	25	エイチ・ビー・フラー (FUL)	素材
6	パーカー・ハニフィン (PH)	製造業	26	ナショナル・フュエル・ガス (NFG)	エネルギー
7	エマソン・エレクトリック (EMR)	製造業	27	ユニバーサル (UVV)	生活必需品
8	スリーエム (MMM)	製造業	28	アルトリア・グループ (MO)	生活必需品
9	シンシナティ・ファイナンシャル (CINF)	金融	29	WWグレインジャー (GWW)	製造業
10	ジョンソン・エンド・ジョンソン (JNJ)	ヘルスケア	30	ターゲット (TGT)	生活必需品
11	コカ・コーラ (KO)	生活必需品	31	ブラック・ヒルズ (BKH)	公益事業
12	ランカスター・ココニ (LANC)	生活必需品	32	レゲット・アンド・プラット (LEG)	製造業
13	コルゲート・パルモリーブ (CL)	生活必需品	33	イリノイ・ツール・ワークス (ITW)	製造業
14	ノードソン (NDSN)	製造業	34	PPGインダストリーズ (PPG)	製造業
15	ホーム・フーズ (HRL)	生活必需品	35	テナント・カンパニー (TNC)	製造業
16	カリフォルニア・ウォーター・サービス・グループ (CWT)	公益事業	36	ペプシコ (PEP)	生活必需品
17	スタンレー・ブラック・アンド・デッカー (SWK)	製造業	37	キンバリー・クラーク (KMB)	生活必需品
18	ABMインダストリーズ (ABM)	製造業	38	バクトン・ディッキンソン・アンド・カンパニー (BDX)	ヘルスケア
19	SJWグループ (SJW)	公益事業	39	アッヴィ (ABBV)	ヘルスケア
20	ステパン (SCL)	製造業	40	アボット・ラボラトリーズ (ABT)	ヘルスケア

# 【セクター別】配当王銘柄トップ40



# ★ HRL ホームル・フーズ

NYSE | 消費財

現在値 **46.930** (09/28 19:00) 前日比 **+0.530 (+1.14%)**

売買単位：1株 [15分ディレイ株価]

時価総額	25,633百万USD	PER	(実)	25.5倍	レーティング <span>?</span>	★★★★☆
自己資本比率	54.9%	PBR	(実)	3.4倍	妥当株価 <span>?</span>	43.356USD
ROE	(実) 14.2%	配当利回り	(予)	2.2%	売上高 前期比 (コ)	9.4%
ROA	(実) 7.9%	配当利回り	(実)	2.2%	当期利益 前期比 (コ)	13.8%

[企業分析](#) [チャート](#) [ニュース](#) [セグメント業績](#) [配当](#) [アナリスト予想](#) [株価指標](#) [決算フラッシュ](#) [コーポレートアクション](#)

## 企業概要

企業概要	ホームル・フーズは、タンパク質に焦点を当てたブランドの食品会社である。ブランドには、Hormel、Spam、Jennie-O、Dinty Moore、Applegate、Wholly Guacamole、Skippyなどがある。収益の大半は米国からで、64%が米国小売、28%が米国食品サービス、8%が米国外である。2021年度の製品種別では、収益の23%が貯蔵安定性食品、18%が食肉製品（ブランド製品および商品）、55%が他の生鮮食品、3%がその他食品、主に栄養製品である。貯蔵安定性のある肉やレディミール、ペパロニ、天然・有機デリ肉、ワカモレの市場では首位、シチメンチョウ、ベーコン、チルドレディミール、ピーナッツバターでは第2位にある。
企業URL	<a href="https://www.hormelfoods.com">https://www.hormelfoods.com</a>

## 決算発表予定

発表予定日：2022年12月9日\*

決算期：2022年 本

※前年発表日から算出した推定日付は\*と表記

(出所：マネックス証券)

# ホームル・フーズ 取扱商品

缶詰「スパム」



ピーナツバター



加工肉（ソーセージ・パティ）



缶詰ビーフシチュー



(出所：ホームル・フーズよりマネックス証券作成)

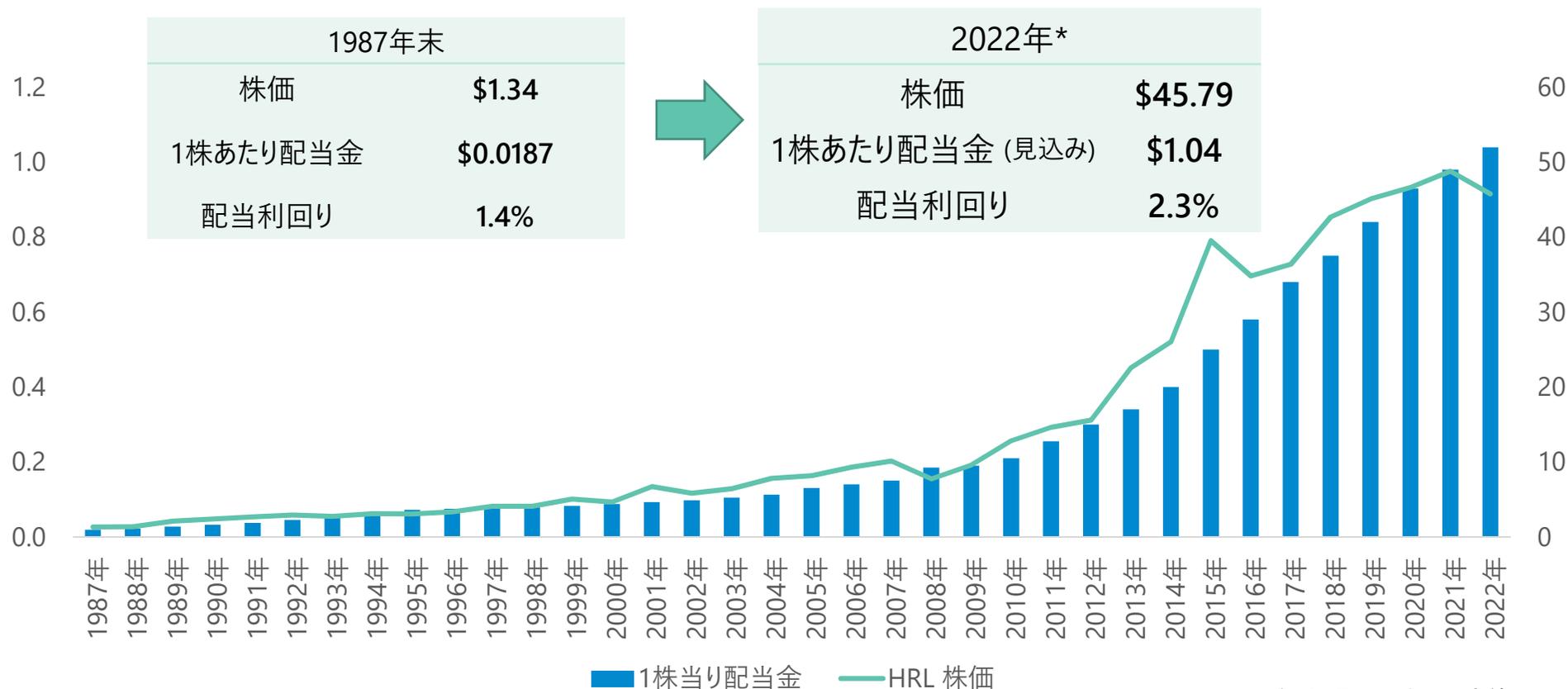


# ホームル・フーズ (HRL) 株価と配当金の推移

期間：1987/12/31～2022/9/16

一株あたり配当金  
(単位：ドル)

株価  
(単位：ドル)



\*2022年は9月16日までの実績

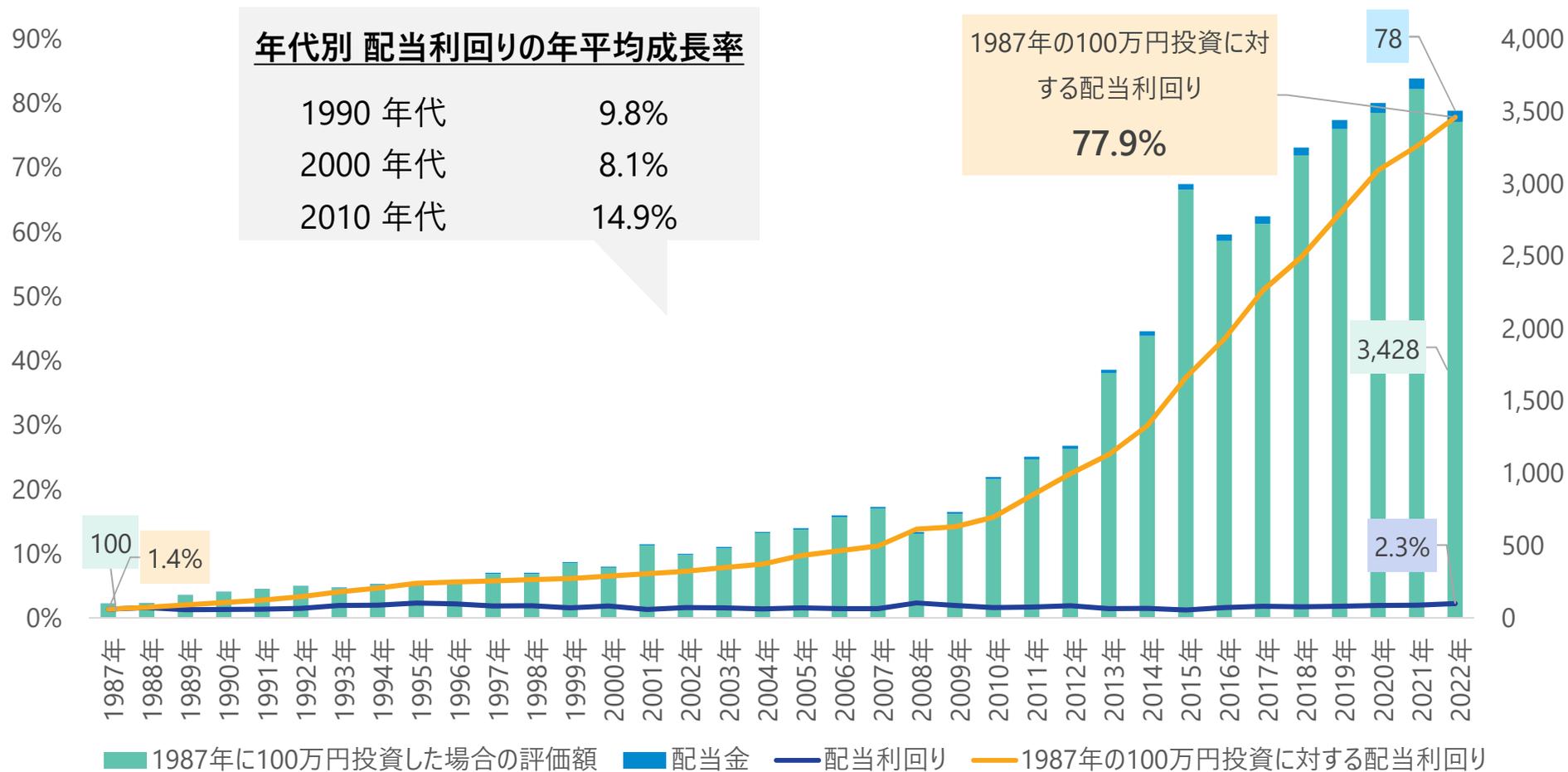


# ホームル・フーズ（HRL）1987年末に 100万円投資したと仮定した場合の配当利回り

配当利回り  
(単位：%)

期間：1987年～2022年\*

投資・配当金額  
(単位：万円)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月16日までの実績<sup>46</sup>

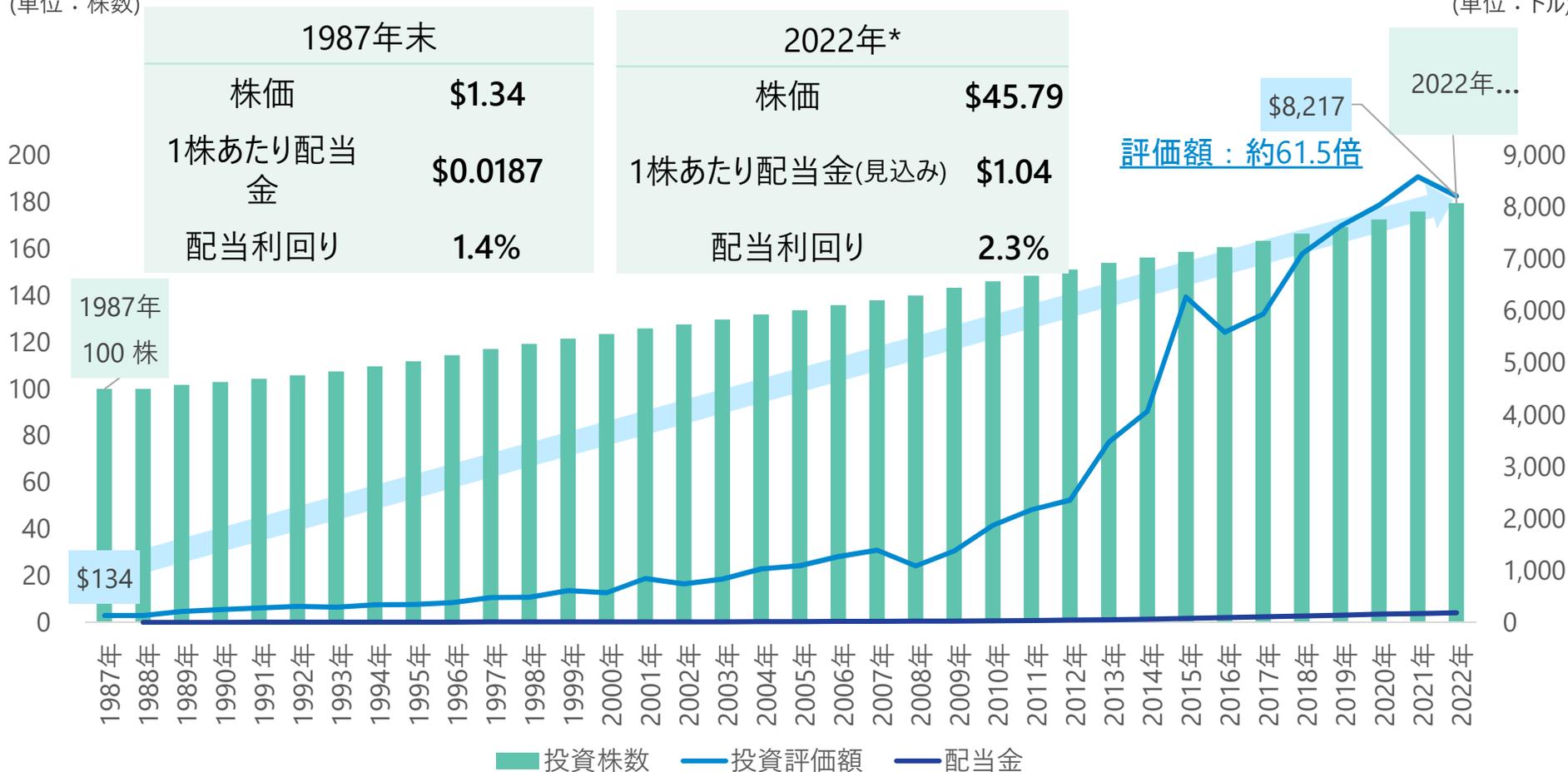


# ホームル・フーズ（HRL）1987年末に100株 投資した場合の配当金再投資を含むリターン

投資株数  
(単位：株数)

期間：1987年～2022年\*

投資・配当金額  
(単位：ドル)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：それぞれ年末にその年の配当金で株式に再投資したものとします。手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月16日までの実績

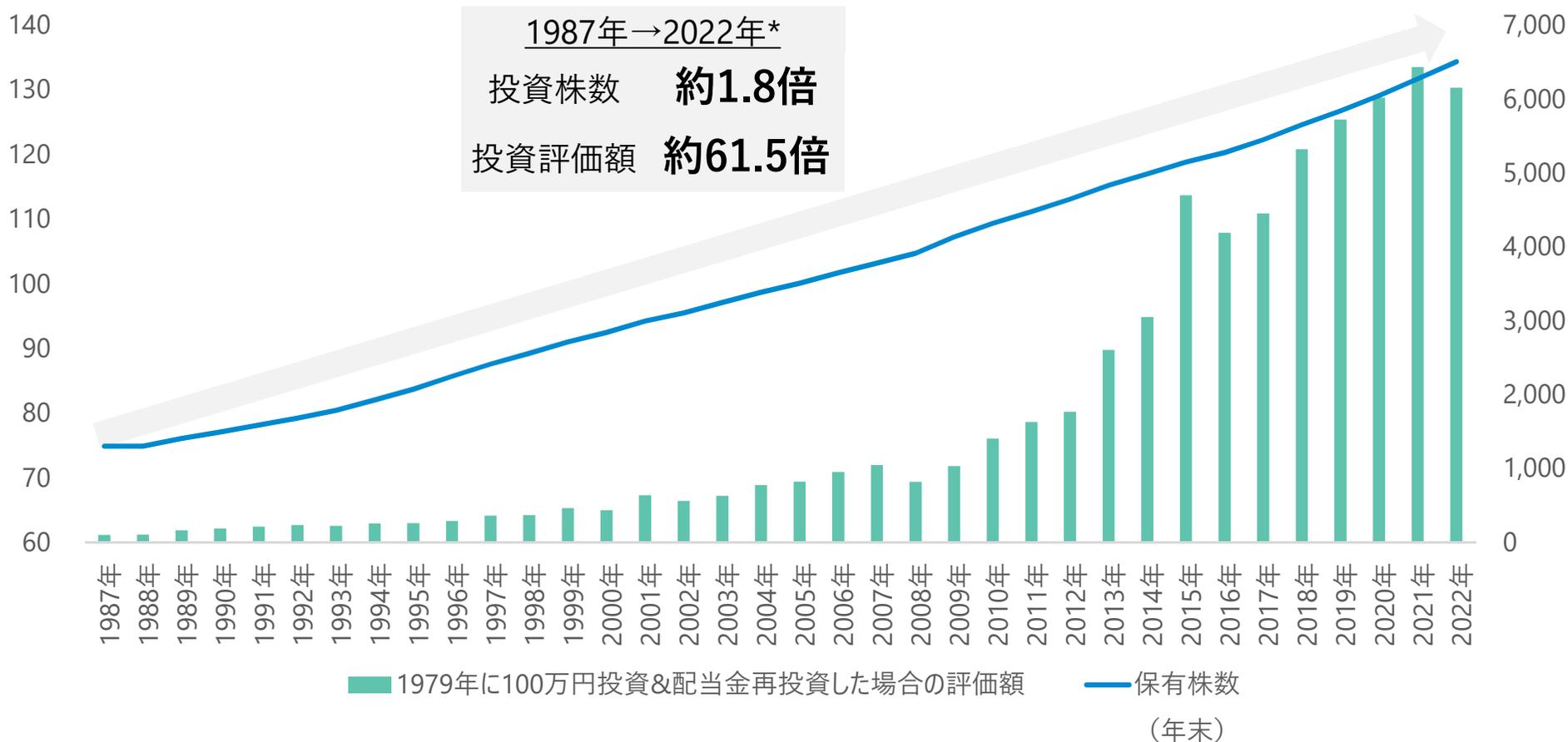


# ホームル・フーズ（HRL）1987年末に100万円 投資した場合の配当金再投資を含むリターン

投資株数  
(単位：株数)

期間：1987年～2022年\*

評価額  
(単位：万円)



(出所：ブルームバーグよりマネックス証券作成)

備考：それぞれ年末にその年の配当金で株式に再投資したものとします。手数料、税金は考慮に入れておりません。また過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。\*2022年は9月16日までの実績

# ★ JNJ ジョンソン・エンド・ジョンソン

ダウ30 | NYSE | 医薬品

現在値 **166.180** (09/22 19:00) 前日比 **+2.900 (+1.78%)**

売買単位：1株 [15分ディレイ株価]

時価総額	436,917百万USD	PER	(実)	24.2倍	レーティング	★★★★☆☆
自己資本比率	40.7%	PBR	(実)	5.7倍	妥当株価	165.088USD
ROE	(実) 25.2%	配当利回り	(予)	2.7%	売上高 前期比 (コ)	2.2%
ROA	(実) 10.4%	配当利回り	(実)	2.6%	当期利益 前期比 (コ)	24.7%

企業レポート 2022/07/20 ジョンソン・アンド・ジョンソン(JNJ)株について

企業分析 [チャート](#) [ニュース](#) [セグメント業績](#) [配当](#) [アナリスト予想](#) [株価指標](#) [決算フラッシュ](#) [コーポレートアクション](#)

## 企業概要

企業概要	ジョンソン・エンド・ジョンソンは、世界最大規模で最も多角的なヘルスケア企業である。医薬品、医療機器・診断、消費者の3部門で構成されている。医薬品、医療機器・診断の部門は合わせて売上高の80%近くを占め、キャッシュフローの大半を占めている。医薬品事業部門では、免疫、腫瘍、神経、肺、心臓、代謝疾患などの領域に重点を置いている。医療機器・診断事業部門では、整形外科、手術器具、視覚ケア、およびいくつかの小さな領域に焦点を当てている。消費者事業部門は、ベビーケア、美容、口腔ケア、市販薬、および女性の健康に焦点を当てている。地理的には、米国内で総収益の約半分が生み出される。
企業URL	<a href="https://www.jnj.com">https://www.jnj.com</a>

## 決算発表予定

発表予定日：2022年10月18日

決算期：2022年 3Q

(出所：マネックス証券)

# ジョンソン・エンド・ジョンソン 取扱商品

メッドテック



一般消費者向け商品  
「バンドエイド」等



処方薬



(出所：ジョンソン・エンド・ジョンソンよりマネックス証券作成)

# JNJ

10年 ▾

月足 ▾

09/26 14:02 [15分ディレイ株価]



(出所：マネックス証券)

# ★ BDX ベクトン・ディッキンソン・アンド・カンパニー

NYSE | 医療機器・器械

現在値 **237.190** (09/22 19:00) 前日比 **-0.820** (-0.34%)

売買単位：1株 [15分ディレイ株価]

時価総額	67,645百万USD	PER	(実)	36.0倍	レーティング <sup>?</sup>	★★★★☆☆
自己資本比率	44.0%	PBR	(実)	2.7倍	妥当株価 <sup>?</sup>	261.503USD
ROE	(実) 6.7%	配当利回り	(予)	1.5%	売上高 前期比 (コ)	-5.7%
ROA	(実) 3.1%	配当利回り	(実)	1.5%	当期利益 前期比 (コ)	71.8%

企業分析 [チャート](#) [ニュース](#) [セグメント業績](#) [配当](#) [アナリスト予想](#) [株価指標](#) [決算フラッシュ](#) [コーポレートアクション](#)

## 企業概要

企業概要	ベクトン・ディッキンソン・アンド・カンパニーは、針、注射器、および鋭利物処理ユニットなどの医療外科用製品の世界最大級の製造業者および販売業者である。また、診断機器、試薬、フローサイトメトリー、細胞イメージングシステムを製造している。BD Interventional部門（大部分が旧Bard 事業）が収益の23%を占める。米国外での収益が44%を占めている。
企業URL	<a href="http://www.bd.com">http://www.bd.com</a>

## 決算発表予定

発表予定日：2022年11月4日\*

決算期：2022年本

※前年発表日から算出した推定日付は\*と表記

(出所：マネックス証券)

# BDX

10年 ▾

月足 ▾

09/26 14:00 [15分ディレイ株価]



(出所：マネックス証券)

# ベクトン・ディッキンソン・アンド・カンパニー 取扱商品

COVID検査システム



ワクチン用シリンジ・針



カテーテル



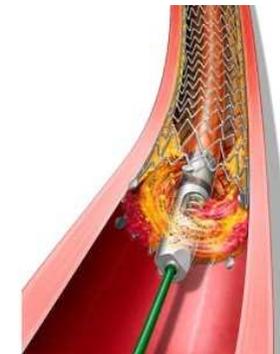
消毒システム



ヘルニア修復用メッシュ



血栓切除カテーテル



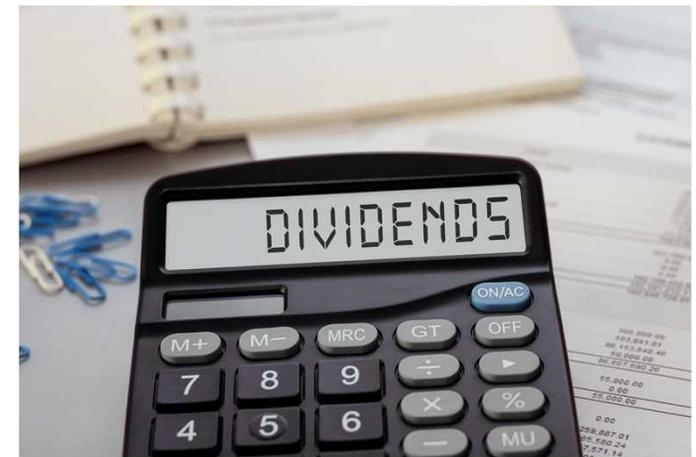
# 高配当ポートフォリオを組み立てるにあたって

1. 安定成長銘柄で分散化を図る
2. バランスの取れた銘柄の比率を
3. 成長より安定性を求める
4. 配当性向に無理がないかの確認
5. 増配を行っているのが理想
6. 配当金の再投資を行う



# 配当株投資を行う前に

1. 高配当銘柄投資候補リストを作る
2. 予想年間配当利回りの確認
3. 歴史的な増配率の確認
4. 増配の歴史（年）を確認
5. 会社が配当金について方針を発表しているか確認
6. 会社のビジネスモデルを調べる



THANK YOU FOR  
**JOINING**  
*US TODAY*

